

平成 25 年度

当初予算資料

市長公室

平成25年度 当初予算会計別総括表

単位:千円、%

区 分		平成25年度	平成24年度	増 減	対前年度比
一般会計当初予算額①		12,728,299	14,138,449	△ 1,410,150	△ 10.0
特 別 会 計 ②		3,572,661	3,555,326	17,335	0.5
特 別 会 計 内 訳	国民健康保険事業	2,839,587	2,802,078	37,509	1.3
	後期高齢者医療事業	543,641	538,082	5,559	1.0
	青年の家事業	6,457	6,270	187	3.0
	市有林整備事業	30,190	30,701	△ 511	△ 1.7
	紀和診療所事業	73,203	97,049	△ 23,846	△ 24.6
	紀和地区水道事業	79,583	81,146	△ 1,563	△ 1.9
	水道事業会計③		774,637	507,907	266,730
合計(①+②+③)		17,075,597	18,201,682	△ 1,126,085	△ 6.2

一般会計歳出予算の状況

(単位：千円、%)

区 分	2 5 年度当初 A	2 4 年度当初 B	比 較		構成比	
			増減額 A - B	増減率 A / B		
1 義務的経費	5,745,298	5,440,263	305,035	5.6	45.1	
内 訳	人件費	2,749,579	2,561,818	187,761	7.3	21.6
	扶助費	1,411,656	1,372,674	38,982	2.8	11.1
	公債費	1,584,063	1,505,771	78,292	5.2	12.4
2 普通建設事業費	2,394,808	2,956,810	△ 562,002	△ 19.0	18.8	
内 訳	補助事業	1,159,545	1,714,336	△ 554,791	△ 32.4	9.1
	単独事業	1,235,263	1,242,474	△ 7,211	△ 0.6	9.7
3 災害復旧費	412,155	1,792,101	△ 1,379,946	△ 77.0	3.3	
4 その他経費	4,176,038	3,949,275	226,763	5.7	32.8	
合 計	12,728,299	14,138,449	△ 1,410,150	△ 10.0	100.0	

参考 実質的な予算額（15ヶ月予算）

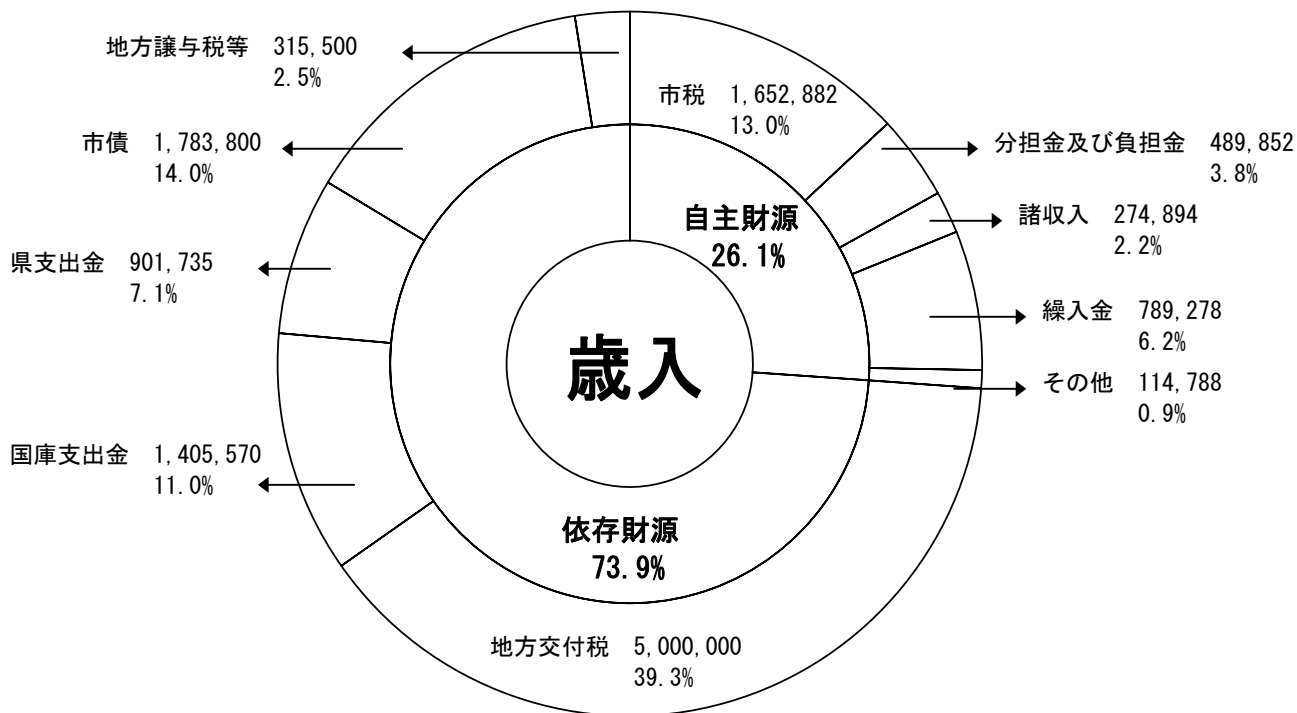
区 分	2 5 年度 A	2 4 年度 B	比 較	
			増減額 A - B	増減率 A / B
災害復旧費を除いた当初予算額	12,316,144	12,346,348	△ 30,204	△ 0.2
国の補正予算を活用し、平成24年度3月補正予算で追加する予定の額	518,344	-	518,344	皆増
合計（実質的な予算額）	12,834,488	12,346,348	488,140	4.0

一般会計歳入予算の状況

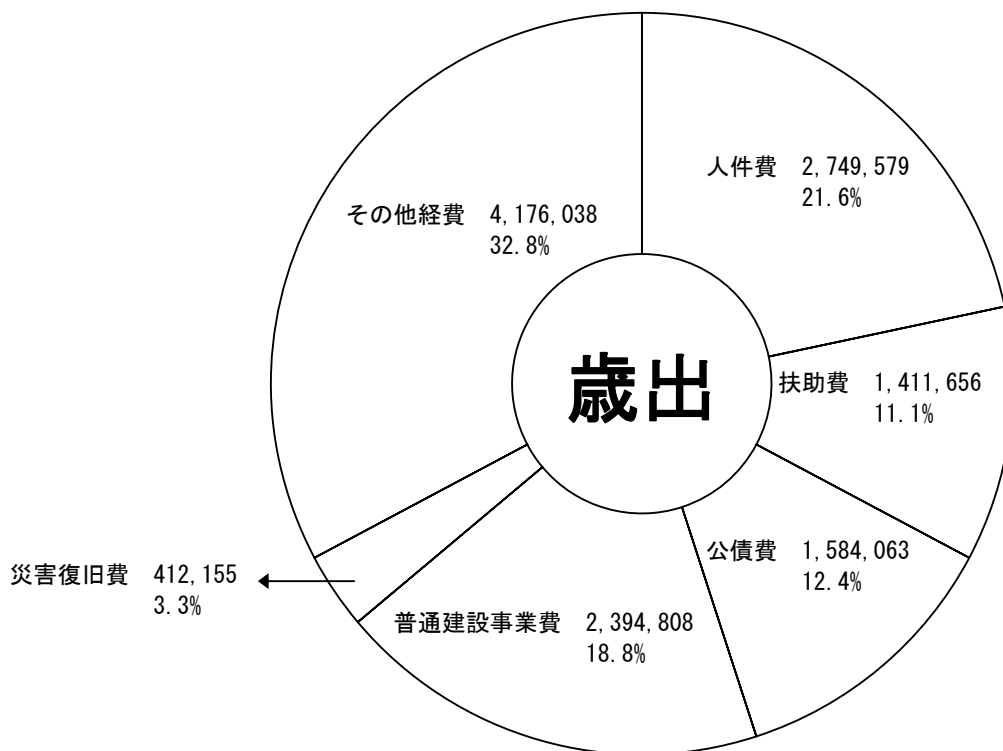
(単位：千円、%)

区 分	25年度当初 A	24年度当初 B	比 較		構成比
			増減額 A - B	増減率 A / B	
市税	1,652,882	1,662,161	△ 9,279	△ 0.6	13.0
地方譲与税等	315,500	315,500	0	0.0	2.5
地方交付税	5,000,000	5,100,000	△ 100,000	△ 2.0	39.3
分担金及び負担金	489,852	458,142	31,710	6.9	3.8
使用料及び手数料	91,855	92,945	△ 1,090	△ 1.2	0.7
国庫支出金	1,405,570	2,210,429	△ 804,859	△ 36.4	11.0
県支出金	901,735	989,706	△ 87,971	△ 8.9	7.1
財産収入	14,616	10,786	3,830	35.5	0.1
寄附金	3,317	4,000	△ 683	△ 17.1	0.0
繰入金	789,278	306,826	482,452	157.2	6.2
繰越金	5,000	5,000	0	0.0	0.0
諸収入	274,894	290,554	△ 15,660	△ 5.4	2.2
市債	1,783,800	2,692,400	△ 908,600	△ 33.7	14.0
合 計	12,728,299	14,138,449	△ 1,410,150	△ 10.0	100.0

一般会計歳入予算総額 12,728,299千円



一般会計歳出予算総額 12,728,299千円



平成25年度当初予算(一般会計)について

～産業振興と集客・交流の拡大、万全な防災対策、福祉の充実の3点を大きな柱として！「超」大型積極予算～

1. 予算の概要

平成25年度の当初予算は、

- (1) いよいよ平成25年度は高速道路が熊野市まで開通する予定の年であり、高速道路を最大限に活用し、集客・交流の大幅な増大や市製品の販売拡大による産業の振興を図るため、これまで市の発展のチャンスであり、正念場と位置づけて取り組んできた産業振興、集客体制の整備など各施策を本格的に実行し、開通に向けて万全の体制を整えます。働く場所の創出のため、「株式会社熊野市役所」の発想で、リスクを恐れず、収益事業に積極的に取り組むことはもとより、事業者の皆さんとの連携、生産者の皆さんへの支援をより一層強化して、市を挙げて産業振興に取り組みます。
- (2) また、地震・津波や台風・豪雨などの大災害の発生に備えるため、地域防災力の強化を主な目的とする全市民が生き抜くための防災対策事業については、ハード面・ソフト面の両面において、必要な対策をより一層拡充して予算に盛り込むこととし、全庁挙げて積極的に取り組みます。
- (3) 当市は全国的に見ても高齢化が著しく進行した「超々高齢社会」であり、高齢者を始め市民の皆さんが健康で安心して暮らせる福祉社会の実現を目指すとともに、子育て支援などにも力を入れます。

これらの重要課題に加え、教育・文化、環境など市政の全ての分野における諸課題に的確に対処していくため、総額127億2,829万9千円の予算編成をしております。国の補正予算を活用し、平成24年度3月補正予算で5億円以上を新たに追加する予定であることから、当初予算と補正予算を一体とした15ヶ月予算では、平成24年度当初予算と比べても増額となっており、市の人口規模からみて、非常に積極的で超大型の、当市として過去最大の予算編成にしております。

(1) 過去最大だった前年度予算を上回る超大型積極予算

平成25年度当初予算は、高速道路開通による「集客」と地域資源を活用した「輸出」による産業の振興、東日本大震災と一昨年9月に当市を襲った台風12号の大水害の教訓を踏まえた万全な防災対策、「安心して暮らせる熊野市」の実現を図る高齢者福祉と子育て支援という3点を中心に、各分野の施策をこれまで以上に力強く前進させ、本市の目指すべき将来像「豊かな自然と歴史の中で人がかがやく、活

力と潤いのあるまち・熊野」の実現にむけ、全力を挙げて取り組みます。

特に、平成25年度は高速道路が開通する年であることから、開通に向けてムードを盛り上げ、集客と市産品の販売アップ、産業振興を図るため、「高速道路開通！熊野！1億円キャンペーン！」として、毎月第4週の集客アップ事業を中心として、開通イベント、その他スポーツイベントやイルミネーション事業、TV・ラジオ等による集客増のためのPRなど様々な事業に市役所全課挙げて取り組んでまいります。

市民の視点・感覚に立った市民本位の行政運営を基本とし、経常的経費などについては、これまで以上に厳しく見直すことはもとより、適正な財源を確保するなど行財政改革の更なる推進に努めます。活動基準原価計算(ABC分析)の実施結果を活用し、職員一人ひとりが業務の効率化、コスト削減を十分に考慮し、前例にとらわれず積極的に事業を見直し、新しい発想でアイデアを生み出し、創意工夫を図ります。

このように編成を行った平成25年度当初予算は127億2,829万9千円となっており、国の補正予算を活用して平成24年度3月補正予算で新たに5億1,834万4千円を追加する予定であることから、当初予算と補正予算を一体とした15ヶ月予算では132億4,664万3千円となります。災害復旧費を除いた額は前年度の平成24年度当初予算が123億4,634万8千円、今回の15ヶ月予算が128億3,448万8千円で、平成25年度の実質的な予算額は過去最大の予算となります。同程度の人口規模の市と比較しても、2～3割増となる超大型の予算です。(参考:全国の人口2万人前後の7市の平成24年度当初予算額の平均は約101億円です。)

新市誕生後は、平成18年度107億5,037万円、平成19年度112億4,738万9千円、平成20年度114億7,722万3千円、平成21年度117億4,484万7千円、平成22年度120億7,701万9千円、平成23年度121億2,718万9千円、平成24年度141億3,844万9千円(災害復旧費を除いた額123億4,634万8千円)と毎年度連続して超大型予算を編成しています。

(2)平成25年度の主な事業

①産業の振興「地域資源を活かした、独創性のある産業が発展するまち」

高速道路開通記念事業として「**高速道路開通！熊野！1億円キャンペーン！**」

(資料P11～P13)に取り組むほか、**特産品づくり**では、「新姫」「熊野地鶏」について、「輸出力」の強化に引き続き積極的に取り組みます。また、セレベスや安納芋などの「芋類活用検討事業」、「特産林産物きくらげ試験栽培事業」などを新たに実施します。**集客・交流**では、市の観光の玄関口の役割を担う「鬼ヶ城センター複合施設」をオープンさせるとともに、スポーツによる集客をさらに拡大するため、ソフトボールをはじめ野球、ラグビー、ソフトテニス、柔道など各種大会・合宿の一層の誘致拡大を図ります。**農業**では、たかな等の特産品の新たな担い手を確保する「地域

おこし協力隊農業支援事業」、有害鳥獣被害防止実施隊を組織する「有害鳥獣被害対策事業」、他産地との差別化を図るための「柑橘高品質化推進事業」に新たに取り組むほか、地域に根付く有能な新規就農者を確保し、生産拡大、耕作放棄地解消を目指す「農業公社事業」などに引き続き取り組みます。**水産業**では、市内に水揚げされた新鮮な魚介類を中心とした「水産物直販施設整備事業」や甫母漁港、遊木漁港の基盤整備などを、**豊かな森づくり**では、熊野原木市場の作業能率を高めるための「林業高能率機械化促進事業」などを実施します。

②保健・医療・福祉の充実 「支え合い助け合う、健やかにいきいきと暮らせるまち」

少子化・子育て対策として、子育てを行っている世代の経済的負担を軽減し、安心して子育てのできる環境を整えるため「中学生・高校生等医療費助成事業」を新たに実施します。平成25年9月診療分から中学生は医療費の自己負担が無料になり、高校生等(18歳の年度末まで)は医療費の自己負担が現在の3分の1となります。**予防・健診**では、おたふくかぜ、みずぼうそうの感染症になることや重症化を防ぐ「おたふくかぜ予防接種助成事業」「水痘予防接種助成事業」、70歳以上の高齢者を対象に、聴覚検査を実施して、必要に応じて耳鼻科受診につなげる「高齢者聴覚チェック事業」、**健康づくり**では、健診や健康に関連した事業への参加に応じて、抽選に応募できる「ワッハッハ健康ポイントラリー事業」を新たに実施します。

③教育・文化の振興 「人・歴史・文化を育み、心の豊かさに包まれたまち」

学校教育では、いじめを未然に防止するための「いじめ対策事業」、教師の指導をより効果的にする「理科教育等設備整備事業」などを新たに行います。**学校環境の整備**では、各学校の給食調理場に空調機器を設置するほか、木本小学校、飛鳥小学校など各学校の改修を引き続き実施します。

④生活環境の整備 「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」

防災では、「津波避難タワー整備事業(有馬地区)」、災害時要援護者を対象とした「津波対策ライフジャケット有償配布事業」、津波襲来が予想される各学校、保育所、幼稚園へのライフジャケットの整備など合計で15の新規事業、5の増額事業に積極的に取り組みます。**市街地の整備**では、山崎運動公園のテニスコートを改修するほか、**道路**では、生活に密着した道路の改良事業や維持事業を引き続き実施します。**交通体系の整備**では、市街地における交通弱者の不安解消を図る「市街地乗合タクシー運行事業」や市街地観光施設等を試験的に周遊させる「市街地周遊バス運行事業」を新たに行います。**災害復旧**では、台風12号の豪雨災害により甚大な被害を受けた河川などの復旧事業を行い、1日も早い復興を目指します。

⑤「まちづくりの進め方」

有馬町の第1公民館の耐震診断を行うほか、新鹿、平谷、小船の公民館、集会所の修繕事業をおこないます。また、集落機能の強化を図る「地域おこし協力隊等事業」などを引き続き実施するほか、地域の絆の再生、市民のおもてなし力の向上により、防犯・環境・交流の各分野で地域力を高めるため、「あいさつ運動推進事業」にも積極的に取り組みます。

2. 歳出予算の特徴

(1) 義務的経費

義務的経費(人件費、扶助費、公債費)については、対前年度比3億503万5千円、5.6%増の57億4,529万8千円となっており、予算全体の45.1%を占めています。

人件費につきましては、定年退職予定者の増により職員退職手当が9,486万4千円の増額となるなどの影響により、1億8,776万1千円の増となっています。

扶助費につきましては、中学生、高校生等に対する医療助成事業を新たに行うことなどから、3,898万2千円の増となっています。

公債費につきましては、市債償還額が1,330万1千円の減となっていますが、平成24年度に引き続き将来の財政健全化のため実施する繰上償還が1億3,114万7千円の増となることなどから、トータルで7,829万2千円の増の15億8,406万3千円となります。

(2) 普通建設事業費

普通建設事業費については、新規事業では、「湯ノ口温泉施設周辺整備事業」、「特別養護老人ホーム整備費補助事業」、有馬地区に整備する「津波避難タワー整備事業」など、継続事業では、「鬼ヶ城センター複合施設建設事業」、「電線共同溝整備事業」、「汚泥再生(し尿)処理センター建設事業」などを予算化しています。

トータルでは、23億9,480万8千円(前年度比5億6,200万2千円減、19.0%減)となっています。

(3) 災害復旧費

台風12号の大水害によって甚大な被害を受けた河川、道路その他の施設の災害復旧事業を24年度に引き続いて行い、1日も早い復興を目指します。災害復旧事業費は4億1,215万5千円となっています。

(4) その他経費

義務的経費及び投資的経費を除くその他経費については、高速道路開通記念事業を新たに行うことなどから、トータルでは2億2,676万3千円の増となっています。

(5) 高速道路開通記念事業

(事業費、事業内容についてはP11～P13)

(6) 特色ある新規事業、増額した継続事業

(事業費、事業内容についてはP14～P22)

(7) 平成24年度3月補正予算追加予定事業

(事業費、事業内容についてはP23)

3. 歳入予算の特徴

(1) 市税

市税については、固定資産税の減などにより、総額で16億5,288万2千円、対前年度比927万9千円、0.6%の減となっています。

(2) 地方交付税

地方交付税については、国の地方財政計画においては17兆624億円、対前年度比3,921億円、2.2%減となっていることから、市においても普通交付税については前年度に比べて1億円の減としております。また、特別交付税については、平成24年度当初予算額と同額を予算化しています。

その結果、地方交付税は50億円、対前年度比1億円、2.0%の減となっています。

(3) 市債

市債について、建設事業や災害復旧事業などに対しては、事業費の減額により13億8,380万円、対前年度比9億1,860万円、39.9%の減となっております。地方交付税と同様に一般財源として取り扱われる臨時財政対策債については、4億円、対前年度比1,000万円、2.6%の増となり、市債総額では、17億8,380万円、対前年度比9億860万円、33.7%の減となっています。

市債の内容は、合併特例債3億9,850万円、過疎債8億3,930万円、災害復旧

債1億1,100万円その他4億3,500万円となっています。

この結果、平成25年度末の市債残高見込額は150億8,484万5千円となっています。なお、合併特例債などは元利償還の際に交付税措置がされることから、実質的市債残高は約38億円となっております。

(4) 財政調整基金繰入金

財政調整基金から7億7,515万2千円を財源不足解消のため繰り入れします。

この結果、平成25年度末財政調整基金の残高見込額は23億3,684万9千円となっています。なお、地域振興基金、減債基金などを加えた基金総額では38億5,190万8千円となっています。

高速道路開通記念事業「高速開通！熊野！1億円キャンペーン！」

単位:千円

事業名	事業費	事業内容
1 高速開通記念・歓迎花火打上事業	9,904	熊野市を花火のまちとしてさらに売り出すために、今秋からの毎月第4土曜日に他のイベントと連携して花火大会を実施します。
2 グルメイベント開催事業	2,553	記念通りや本町通りにおいて、今秋からの毎月第4日曜日に計6回のグルメイベントを実施します。
3 熊野グルメウィーク開催事業	2,245	二木島湾で養殖されているマグロ、熊野地鶏など市内の農産物・水産物を食材としたメニューを、市内飲食店において1週間程度を9回、計9週間提供し、集客UPを目指します。
4 カークラブ招待事業	1,280	市外のカークラブ(日本車、外車)を招待し、山崎運動公園や記念通りなどで展示し、市内パレードを実施します。
5 高速道路ウォーキング開催事業	1,229	開通前の記念イベントとして、開通前の高速道路でウォーキングを行います。
6 平成の熊野古道マラソン大会開催事業	2,479	開通前の記念イベントとして、開通前の高速道路でマラソン大会を開催します。
7 ステージイベント開催事業	1,287	開通前の記念イベントとして、鬼ヶ城周辺でステージイベントを開催します。
8 物産展開催事業	160	開通前の記念イベントとして開催されるステージイベント周辺で、物産展を開催します。
9 第九演奏会開催事業	2,489	高速道路開通の喜びに対し、地元コーラス団体や都市部の楽団による「歓喜の歌」第九演奏会を開催します。
10 高速道路交通安全講習会開催事業	85	市民向けに高速道路の安全な利用方法についての講習会を開催します。
11 あいさつ運動おもてなし推進大会開催事業	1,696	あいさつ運動おもてなし推進大会を市民会館で開催し、あいさつ運動を全市的に展開して、おもてなしの機運を盛り上げます。
12 シンポジウム「古代から現代の道」開催事業	86	高速道路開通にあわせて、「人間と道との関わり」を多面的に見つめるセミナーを開催します。
13 拓けゆく熊野路シンポジウム開催事業	460	記録映画「国道42号矢ノ川峠改修記録」(旧建設省制作)、教育映画「道」(東映制作)の上映や、写真パネル展示、旧国鉄バスの実物大写真や模型の展示を行います。
14 水泳教室開催事業	535	元オリンピック選手等による子ども水泳教室を紀和町B&Gプールで開催します。
15 海水浴場魅力向上事業	863	新たなマリンスポーツとして人気が高まっているスタンドアップパドルサーフィンの講習会を開催します。
16 防災と観光のためのトレイル整備事業	1,245	紀和町の観光施設等を結ぶ自然を活かしたトレッキングコースを整備します。また、災害時には集落の孤立防止の道としても利用できるようにします。
17 トレイルランニングレース大会開催事業	980	ランニングブームのなか、山道などを走るトレイルランニングが関東地方を中心に爆発的に人口を増やしているため、新たに整備されるコースでトレイルランニング大会を開催し、集客を図ります。

事業名	事業費	事業内容
18 サイクルデイイン熊野開催事業	783	開通を記念して、一流選手等を講師に迎え、大学生や高校生を対象に実技指導や練習方法等を中心とした自転車競技のクリニック(研修)を行います。
19 全国高等学校女子ソフトボール選抜大会開催事業	2,400	開通を記念して、全国高等学校女子ソフトボール選抜大会を開催するための経費に対して補助を行います。
20 日本女子ソフトボールリーグ開催事業	1,900	開通を記念して、日本女子ソフトボールリーグ1部第2節を開催するための経費に対して補助を行います。
21 ナイトガーデン開催事業	198	来春のオープンガーデンの期間中にナイトガーデンを実施するための準備をします。
22 集客ライトアップ事業	1,216	獅子岩、花の窟のライトアップを行い、集客につなげます。
23 市街地イルミネーション事業	14,885	文化交流センター、駅前、記念通りなどをイルミネーションで飾り付けします。
24 歓迎のぼり設置事業	1,139	市全体に歓迎のぼり等を立てます。
25 熊野あんどん回廊事業	670	市街地をはじめ、市内全域であんどんやちょうちんを設置して歓迎のムードを高めます。
26 熊野市広報用映像制作事業	4,116	高速道路開通や熊野古道世界遺産登録10周年を迎えるにあたって、プロモーション映像を制作し、テレビ、イベント会場、Webサイトなどさまざまな放送媒体を使って、熊野市の魅力をPRします。
27 熊野市メディア広告事業	21,330	高速道路開通やキャンペーンをテレビ・ラジオで大々的にPRするほか、熊野市の特産品のCMを放送します。
28 「伊勢から熊野」集客UP事業	2,680	伊勢遷宮の観光客を熊野市に誘客するため、伊勢市内定期バスを利用した情報発信を行います。
29 観光案内スマホ活用事業	681	スマートフォンアプリを活用して観光情報を発信します。
30 観光タクシー事業	107	観光に関する研修を行って、観光案内のできるタクシーを整備します。
31 食のキャンペーン事業	748	熊野市を訪れた観光客のおもてなしアップのため、宿泊施設、飲食店において丼や鍋物のキャンペーンを行います。
32 歓迎ポスター等作成事業	2,377	観光ポスターやパンフレット、キャンペーン関連のイベントを一覧にしたカレンダーを作成します。
33 ご当地戦隊集合事業	1,915	熊野市のご当地戦隊ヒーローを誕生させ、県内各地のご当地ヒーローを招いてイベントを開催します。
34 イタリアコーナー整備事業	1,233	集客拠点施設にイタリアコーナーを整備し、他とは一味違う集客拠点施設を目指します。
35 鉾山資料館魅力向上事業	185	鉾山資料館の1階休憩室を暗室に改修し、ブラックライトを用いて国内屈指の「蛍石」を発光させ、入館者増加につなげます。

事業名	事業費	事業内容
36 海上遊覧事業費補助事業	600	熊野漁協が新規に観光バス1台分の乗客を海上遊覧させる事業を行うため、この立ち上げにかかる経費に対して支援を行います。
37 熊野大花火大会記念花火打ち上げ事業	5,000	8月17日に開催予定の熊野大花火大会に開通記念花火を打ち上げます。
38 ビューポイント整備事業	2,300	これまで整備を行った5ヶ所に加えて新たなビューポイントを追加・整備し、周遊してもらうためにパンフレットでPRします。
39 誘客と周遊による活性化推進事業	1,000	各種集客拠点を回遊できる仕掛けを考え、まちなかへの来訪者及び滞在時間の増加を図ります。
40 グルメクーポン店めぐり事業	1,097	宿泊施設、飲食店等を周遊するグルメをテーマにしたスタンプラリーを実施します。
41 謎解きウォーク開催事業	794	市街地の観光ポイントを周遊する謎解きウォークを開催します。
42 熊野フォト・スタンプラリー開催事業	995	市内の観光ポイントを周遊するスタンプラリーを開催します。
43 高速道路開通記念補助事業	10,000	各種市民団体に高速開通を盛り上げるための事業を考えていただき、イベント等の事業費に対して補助を行います。
総計 43事業	109,925	

特色ある新規事業

単位:千円

事業名	事業費	事業内容
1 産業の振興		
特産品づくり		
1 芋類活用検討事業	914	セレバスや安納芋などの熊野産芋類を原材料として菓子店等に提案するほか、備蓄用加工品・冷凍焼き芋等として活用できないか関連業者に提案していきます。
2 地場産野菜発掘事業	50	市内各地域で生産されている農産物を詳しく産地マップ化することにより、食品関連業者へ積極的に売り込みをかけ販路拡大につなげることで、農家所得の向上や山間地域の活性化を図ります。
3 柑橘高品質化推進事業	3,060	柑橘の高品質化を図り、他産地との差別化を図るため、栽培資材(マルチ材)を新規に購入する場合、費用の一部を補助します。
4 特用林産物きくらげ試験栽培事業	432	湯ノ口温泉敷地内にある温室を利用して、きくらげの試験栽培を行い、新たな特産品の創出を図ります。
集客・交流		
5 湯ノ口温泉施設周辺整備事業	25,530	老朽化が進んでいる湯元山荘湯ノ口温泉の本館の建て替えに向けて、平成27年度完成予定の奥瀬道路、国道311号の改良を見越し、平成25年度は設計業務を行います。
6 誘客・周遊拠点施設整備事業	29,800	高速開通に向け、中心市街地の賑わいを創出するため、本町通りの古民家を改修します。また、ツアーデザインセンター、駅前特産品館、お綱茶屋などを関連付けるソフト面の整備を同時に行うことで、駅前、記念通り、本町通り、鬼ヶ城、花の窟をつなぐ中心市街地を観光客に回遊してもらい、賑わいを創出を図ります。
7 小阪公衆トイレ設置補助事業	3,500	公衆トイレの整備事業を行う小阪区に対し、補助を行います。
8 熊野新発見ツアー事業	20	観光客が訪れたとき市民が簡単な観光案内ができるように、市内観光資源を周遊してその魅力を理解してもらいます。市民が地元観光スポットを再認識することにより、おもてなし力の向上を目指します。
9 道の駅ガイドマップ情報発信事業	368	中部圏約120箇所の道の駅に配布されるガイドマップに熊野市の観光情報を広告掲載し、自動車を利用する観光客の誘客を図ります。
10 田舎を知る体験モニターツアー事業	343	都市と熊野市の交流を図るため、2つの体験モニターツアーを実施し、評価が高ければ、平成26年度の熊野市観光公社の商品としての販売を目指します。
11 ブルーツーリズム集客推進事業	100	より多くの人々に熊野市のブルーツーリズムメニューを体験していただくよう、都市部の旅行エージェントに積極的なPR活動を行うとともに、利用者のニーズに応じたメニュー開発も平行して行って、集客増を図ります。
農業		
12 地域おこし協力隊農業支援事業	7,254	農業従事者の高齢化や担い手不足により、たかな等の特産品についても生産量が減少傾向にあるため、新たな担い手を確保して、耕作放棄地の解消、特産品の安定生産につなげます。
13 有害鳥獣被害対策事業	10,072	鳥獣による農作物への被害が市内全域で深刻化しているため、有害鳥獣被害防止実施隊を組織して、獣害対策に関するきめ細やかな地域指導を行います。
林業・豊かな森づくり		
14 林業高能率機械化促進事業	4,475	熊野原木市場の作業の効率化を図るため、木材作業専用車の更新費用の一部を補助します。

事業名	事業費	事業内容
水産業		
15 水産物直販施設整備事業	10,081	高速道路開通にあわせ、市の観光の玄関口となる鬼ヶ城に集客及び魚価向上のため、市内の市場に水揚げされた新鮮な魚介類を中心とした水産物直販施設の整備を行います。
16 甫母漁港改良事業	12,000	甫母漁港の泊地へ土砂が堆積し、漁船の係留、航行に支障をきたしていることから、浚渫工事を行います。また、漁港入り口に門扉を設置し、漁業者や関係者が安全・安心に漁業活動ができるようにします。
17 遊木漁港改良事業	4,500	遊木漁港内に建設予定の魚市場用地に面した道路について、陥没箇所の復旧及び排水溝側溝の整備の改良を行います。また、水門の操作盤等の改良工事も合わせて行います。
商工業		
18 熊野古道ふるさと便検討事業	70	市外への輸出戦略の一環として、市内の物産の詰め合わせパック開発の調査・研究を行います。
19 小規模事業者振興資金利子補給事業	15,000	高速道路開通を控え、もてなしアップの改善やこの機会に事業規模の拡大や新規の創業を考えている市内事業者に対して、そのリスクを軽減するため、事業者が日本政策金融公庫の経営改善貸付制度及び三重県小規模事業者資金制度を活用して融資を受けた場合に、その利息の一部を補助します。
20 商店街活性化事業計画策定支援事業	233	中心市街地の活性化のために必要な商店街活性化事業計画を策定し、商店街振興に必要なソフト・ハード整備事業の進捗を図ります。
21 東紀州雇用実践支援強化事業	194	事業者の経営能力の増強や新たな販路開拓を行うため、事業者の地域外研修を行います。
22 首都圏営業拠点活用調査事業	65	三重県が平成25年夏に東京日本橋に開設する首都圏営業拠点において、どのように熊野市の特産品の販売や観光イベント等のPRを行うか、検討を行います。
小計 22事業	128,061	
2 保健・医療・福祉の充実		
高齢者福祉		
1 特別養護老人ホーム整備費補助事業	150,000	旧飛鳥小学校跡地を利用して社会福祉法人杏南会が特別養護老人ホームを建設するに当たり、整備費の一部を補助します。
障がい者福祉		
2 障がい者(児)紙おむつ給付事業	576	在宅生活している重症心身障がい者(児)に対して、紙おむつを給付します。
予防・健診		
3 高齢者聴覚チェック事業	195	70歳以上の高齢者を対象に、聴覚検査を実施して、必要に応じて耳鼻科受診につなげます。
4 おたふくかぜ予防接種助成事業	377	おたふくかぜの罹患や重症化を防ぐため、ワクチン接種費用の一部を助成します。
5 水痘予防接種助成事業	503	水痘(みずぼうそう)の罹患や重症化を防ぐため、ワクチン接種費用の一部を助成します。
健康づくり		
6 ワッハッハ健康ポイントラリー事業	679	健診や健康に関連した事業への参加に応じて健康ポイントを集め、集めたポイントに応じて地元の特産品等の抽選に応募できるようにします。また、集めたポイント数により参加賞を進呈します。

事業名	事業費	事業内容
少子化・子育て対策		
7 中学生・高校生等医療費助成事業	6,992	子育てを行っている世代の経済的負担を軽減し、安心して子育てのできる環境を整えるため、現在小学校修了前までに行っている医療費の助成を、平成25年9月診療分から中学生、高校生等まで拡大します。中学生は医療費の自己負担を無料に、高校生等(18歳の年度末まで)は医療費の自己負担を現在の3分の1とします。
小計 7事業	159,322	
3 教育・文化の振興		
学校教育		
1 理科教育等設備整備事業	9,000	児童生徒の学力を向上させるため、教師の指導をより効果的にする理科教材を整備します。
2 いじめ対策事業	442	いじめを未然に防止するために学級満足度調査(QU調査)を実施して、学級の中での子どもたちの人間関係を明らかにし、課題を解決するため適切な指導を行います。
3 ICT映像を活用した自然環境学習事業	1,000	ICT映像を活用した学習の中で、大規模災害によって損なわれた郷土の自然環境について再認識するとともに、効果的な環境教育を実施します
学校環境の整備		
4 給食調理場空調機器設置事業	4,670	小学校の給食調理場に空調機器を設置し、食中毒の危険性を回避します。
5 木本小学校校舎改修事業	13,500	木本小学校の屋上改修工事などを行います。
6 飛鳥小学校トイレ改修事業	4,900	飛鳥小学校校舎各階及び屋内運動場の男女トイレにある和式大便器の1箇所を腰掛け便器に改修します。
7 旧飛鳥小学校屋内運動場改修事業	7,500	屋内運動場を避難所としてより使いやすくするために、男女各トイレに洋式便器を設置し、更衣室に畳を敷くなどの改修を行います。
8 飛鳥中学校トイレ改修事業	4,600	飛鳥中学校の校舎は旧小阪小学校の校舎を使用していますが、便器をはじめトイレ全体を中学生仕様にします。
生涯学習		
9 熊野検定事業	145	市内の観光に携わる関係者(宿泊施設、飲食店、タクシー等)を始め、市民がより深く熊野市を知るためにセミナー等を開催し、語り部やガイドができる人材を育成します。
文化芸術		
10 市民会館舞台装置改修事業	7,400	市民会館舞台設備のうちの1つである天井反射板昇降装置の取替えを行います。
生涯スポーツ		
11 屋内運動施設建設検討準備委員会事業	307	屋内運動施設建設検討準備委員会を開催し、先進地視察等を含め建設検討準備にかかる調査・研究を行います。
12 B&Gウォーターマラソン事業	10	紀和B&Gプールを利用して歩いた距離・泳いだ距離を、インターネットを通じて全国の参加者と競い合います。
小計 12事業	53,474	

事業名	事業費	事業内容
4 生活環境の整備		
防災		
1 津波避難タワー整備事業(有馬地区)	34,026	近隣に高台などがない地域の住民の生命を守り、身体の安全を確保するため、有馬町芝園地区、志原尻地区の津波避難タワー整備に向けて、平成25年度は用地購入、地質調査を行います。
2 津波避難ビル検討事業(木本地区)	50	木本町内の高い建物を津波避難ビルに指定できないか検討するため、既に避難ビルを指定している先進自治体の視察を行います。
3 災害時要援護者避難対策推進事業	739	災害時に要援護者の被害を減少させるため、市内5地区で個別避難計画の作成や避難訓練を実施します。
4 津波対策ライフジャケット有償配布事業	22,780	地震・津波時に備えて、津波浸水予測地域内(須野町～久生屋町)に居住している災害時要援護者(65歳以上)の住民に対して、救命胴衣を有償で配布します。
5 保育所ライフジャケット配備事業	1,222	地震・津波時に備えて、津波襲来が予想される保育所(新鹿、木本、井戸、有馬、ひまわり)にライフジャケットを配備します。
6 小・中学校、幼稚園ライフジャケット配備事業	3,356	地震・津波時に備えて、津波襲来が予想される小学校(新鹿、木本、井戸、有馬)、中学校(荒坂、新鹿、有馬)、幼稚園(木本)にライフジャケットを配備します。
7 女性の防災意識啓発事業	300	女性の防災意識啓発のため、災害時の「食」への備えをテーマとした講演及び料理教室を行います。
8 防災ラジオ用アダプター有償配布事業	158	防災ラジオの経年劣化により、アダプターの故障が相次いでいることから、有償(500円)での配布を行います。
9 避難誘導標識設置事業	5,529	地震発生時、津波から速やかに避難ができる体制を整えるため、避難場所の表示、避難誘導等の看板を整備します。
10 避難路整備(見直し)計画作成事業	20	現在、避難路を地元からの要望で整備していますが、市としてどれくらい必要なのかを洗い出し、整備していく計画を作成します。
11 エリアメール一斉送信機能整備事業	208	大規模災害において、市民に対しての情報発信の迅速化を図るため、エリアメール3社(ドコモ、ソフトバンク、KDDI)のメール送信について、一度の操作で3社のエリアメールに送信できる設備を構築します。
12 災害時防災井戸設置事業	820	災害時の応急給水体制を補完するため、防災井戸を指定して、市民に周知します。また、可搬手押しポンプと浄水器を購入し、災害時に貸し出します。
13 災害時要援護者対策けん引式車いす補助装置貸与事業	1,200	地震・津波時に備えて、津波浸水予測地域内(須野町～久生屋町)に居住している車いすを利用している方にけん引式車いす補助装置を無償で貸与します。
14 災害バイク隊整備事業	1,332	大災害の発生時にいち早く現場情報を収集するなど、初動対応に役立てるため、消防署に自動二輪車2台を配備します。
15 市庁舎避難誘導灯設置事業	580	市庁舎敷地内の街灯を災害時などの停電時にも点灯するよう、LED街灯を設置します。
消防		
16 消防救急デジタル無線・通信指令システム整備事業	14,442	消防救急無線をデジタル化し、消防署内の通信指令システムを更新し、消防力の充実強化につなげます。平成25年はシステム、工事の実施設計を行います。
17 水槽付消防ポンプ自動車更新事業	55,643	高速道路開通にあわせて、消防水利が限られている自動車専用道路上での交通救助、車両火災、大型車両事故に対応できる水槽付消防ポンプ自動車を配備します。

事業名	事業費	事業内容
18 五郷分団車庫改築事業	18,790	老朽化した五郷分団車庫を改築し、火災や災害時などの活動拠点としての機能を高めます。
19 消防団小型動力ポンプ更新事業	4,900	消防団(甫母、大馬、花知)に配備されている小型動力ポンプを更新し、消防力を強化します。
市街地の整備		
20 山崎運動公園テニスコート改修事業	60,800	山崎運動公園のテニスコートを人工芝にし、防風ネットも設置することによって、グレードアップを図り、市民の利用促進、スポーツ集客の拡大につなげます。
道路		
21 トンネル長寿命化計画事業	4,000	市道に4本のトンネルがありますが、点検を実施し、トンネルの長寿命化修繕計画を作成します。
交通体系		
22 市街地乗合タクシー運行事業	7,429	市街地における交通弱者の日常生活における不安を解消し、交通手段の確保を図るため、乗合タクシー(ワゴン車)を試験的に運行します。
23 市街地周遊バス運行事業	1,650	観光客に対する2次交通の確保を図るため、市街地観光施設及び体験施設を周遊する定時定路線型、運賃固定のバス(ワゴン車)を試験運行します。
廃棄物の処理		
24 不燃物処分場搬入路整備事業	1,400	現在、砕石で固めている搬入路の舗装化を行い、砕石からでるほこりを防止して、搬入の安全性を向上させます。
小計 24事業	241,374	
5 まちづくりの進め方		
1 若者定住のための空き家改修事業	600	過疎集落における若者定住を推進するため、区やまちづくり協議会が空き家の改修をする際に原材料費相当分の補助を行います。
2 有馬第1公民館耐震化事業	1,000	有馬町芝園の有馬第1公民館の耐震診断を行います。
3 新鹿公民館照明修繕事業	1,389	新鹿公民館の照明設備が経年劣化により老朽化しており、照明設備を修繕して施設内の環境改善を行います。
4 平谷公民館修繕事業	41	平谷区が所有する公民館の敷地舗装の原材料を支給します。
5 小船集会所兼診療所修繕事業	411	小船集会所兼診療所の駐車場舗装の原材料を支給します。
6 一般職非常勤職員研修事業	74	一般事務職を中心とした非常勤職員に対し、専門講師による接客応対マナー研修を実施し、市民満足度の向上を図ります。
小計 6事業	3,515	
総計 71事業	585,746	

増額した継続事業

事業費の()は平成24年度当初予算額

単位:千円

事業名	事業費	事業内容
1 産業の振興		
特産品づくり		
1 熊野地鶏振興事業	1,137 (638)	「熊野地鶏」を市の特産品としてブランド化を図り、市内・外でPR活動を実施し、販売促進に力を入れます。
2 「熊野の木ノ子」栽培事業	1,472 (422)	紀和町にある旧石原産業の坑道を利用し、ハタケシメジ等の菌床栽培を実施し、新しい特産品として商品化を図ります。
3 「熊野の木」新たな特産品づくり事業	803 (300)	間伐材を含めた熊野の木材を有効活用するため、都市部の大学でデザインなどを専攻する学生のアイデアを活用し、商品化を検討します。
集客・交流		
4 新たな集客・交流推進検討事業	1,518 (1,078)	鬼ヶ城、花の窟、観光物産会館などの滞留利用拠点づくりに加え、駅前周辺、記念通り・本町通り周辺といった道路やまち並み景観に対しても来訪者や地域住民を大切にするホスピタリティ表現を盛り込むなど集客・経済波及効果の期待できる構想を検討します。
5 熊野那智黒碁石囲碁祭り開催事業	500 (250)	日本棋院三重県支部連合会が主催する「囲碁の祭典」と「紀州熊野地区囲碁大会」を熊野で同時開催し、那智黒石の郷、熊野市をPRするとともに、県内外から多数の囲碁愛好家に来ていただき、宿泊客の増加につなげます。
6 都市農村交流推進事業	552 (252)	都市住民(相模女子大学)と集落の都市農村交流を促進させ、百貨店での地域物産展への出展や大学祭への参加を行い、当市の特産品を販売します。
農村環境の整備		
7 農免農道整備事業	5,834 (4,667)	農免農道開設事業により国道311号から農村公園、防災拠点施設などを経て、県代行久生屋金山線への中核交流施設核心部にいたる2車線幹線農道の開設について事業を実施します。
林業・豊かな森づくり		
8 有害鳥獣駆除事業	6,945 (6,865)	鳥獣害対策として、有害鳥獣買上事業、有害鳥獣出動奨励事業を行います。
9 森林組合合併補助事業	2,000 (1,000)	24年4月に熊野市森林組合と紀南森林組合が合併し誕生した三重くまの森林組合に対して、合併後の初期必要経費や経営基盤を強化する事業について補助を行い、経営の効率化を促進します。
10 森林病虫害防除事業	1,465 (931)	花の窟、獅子岩、有馬町防風保安林内の松喰い虫防除を実施します。
11 森林整備加速化・林業再生基金事業	35,001 (30,001)	林道専用道を開設し、森林整備を効率化します。
12 オフセットクレジット推進事業	1,064 (600)	市内の森林によるカーボン・オフセットを推進するため、CO2吸収量認証であるオフセット・クレジット(J-VÉR)の取得、販売を推進します。
13 甲虫類飼育生産事業	200 (60)	紀和町のクヌギ山を利用し、甲虫類の産卵場所を人工的につくり増殖させることで、自然豊かな森づくりとともに、観光客に昆虫採取の体験メニューを提供します。

事業名	事業費	事業内容
14 林内作業道開設事業	2,160 (1,440)	森林組合が開設する作業道について、支援を行います。
水産業		
15 漁業担い手対策事業	1,920 (920)	漁業経営体に雇用されたI・Jターン新規漁業就労者の家賃を2年間助成します。
小計 15事業	62,571 (49,424)	
2 保健・医療・福祉の充実		
高齢者福祉		
1 食の自立支援事業	6,319 (3,420)	在宅の一人暮らしの高齢者等に対して、定期的に居宅を訪問し、栄養のバランスがとれた食事を提供するとともに、安否確認、孤独感の解消を図ります。
2 元気確認ふれあいノート事業	310 (59)	高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするため、75歳以上の一人暮らし高齢者で見守りを希望する方を対象に「元気ふれあい確認ノート」を配布し、見守りを希望する高齢者がどれくらい訪問を受けているか把握し、訪問頻度の少ない人に対して、今後どのような見守りを行っていくかを検討します。
少子化・子育て対策		
3 放課後児童対策事業	18,965 (14,617)	保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、授業の終了後に施設を利用して、適切な遊び及び生活の場を提供して健全育成を図っている「くまのっ子学童クラブ」の運営費を支援します。
4 少子化対策・ひとり親家庭自立支援事業	1,440 (1,350)	くまのっ子学童クラブに入所するひとり親家庭の保育料の2分の1を補助します。
社会保障等		
5 障がい者自立支援事業	427,572 (405,097)	障がいを持った方々に対して、居宅でのホームヘルプサービスや施設でのサービスを提供するほか、補装具や日常生活用具を支給することにより、自立した生活を支援します。
小計 5事業	454,606 (424,543)	
3 教育・文化の振興		
文化芸術		
1 熊野街道歴史の道整備活用推進事業	1,589 (1,402)	世界遺産登録されている熊野古道の清掃、枝払い等を行い、きれいに保つことによって、イメージアップを図り、来訪者の増加につなげます。
2 新「熊野市の文化財」図書編纂事業	1,668 (130)	23年度、24年度で編纂してきた合併後の新熊野市における文化財の内容をまとめた図書「熊野市の文化財」の印刷製本を行います。
地域間交流		
3 他地域交流検討事業	347 (287)	宮崎県日向市とは、碁石(那智黒石とハマグリ)や神武天皇東征の出発地と到着地などでつながりがあることから、姉妹都市の締結を視野に入れた各種交流事業を行います
特別支援教育		
4 臨時特別支援教育支援員設置事業	43,951 (41,411)	知的、身体的障がいのある児童生徒に支援員を配置します。
生涯スポーツ		

事業名	事業費	事業内容
5 ヨット体験事業	642 (18)	小・中学生を対象にヨット体験教室を開催します。
6 カヌー川下り体験事業	859 (90)	小学生以上を対象にカヌーでの川下り体験を実施します。
小計 6事業	49,056 (43,338)	
4 生活環境の整備		
防災		
1 家具転倒防止器具取付事業	976 (657)	災害要援護者の地震対策として、家具転倒による被災を防止するため、L字型金具等を取り付けます。また、自主防災組織で取り付ける場合、対象者への器具の無償配布を行います。
2 海拔標識1,000枚設置事業	9,708 (1,592)	これまで市内に海拔標識を設置してきましたが、さらに1,000枚の海拔標識を追加します。
3 防災公園整備事業	37,800 (15,900)	オレンジホテル跡地に、スポーツ集客のための野球場、室内練習場を備え、大規模災害時には復旧・復興活動の拠点となる公園を整備します。平成25年度は実施設計等を行います。
4 急傾斜地崩壊対策事業	4,100 (2,000)	甫母地区外3地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を負担します。
5 津波避難路ブロック塀等除去改修事業	1,500 (1,000)	津波浸水予想地域の避難路に面するブロック塀等の除去、改修に対し補助を行います。
土地利用		
6 地籍調査事業	7,696 (5,274)	道路整備計画予定地における公図の混乱を解消し、国道の整備促進を図ります。
市街地の整備		
7 防犯灯設置事業	1,950 (420)	区、自治会などが防犯灯の新設する際に補助を行っていますが、LED防犯灯への改修費用の一部に対しても補助を行い、市内防犯灯のLED化を進めます。
8 電線共同溝整備事業	255,867 (110,522)	都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保などを図るため、西川町獅子岩線の無電柱化事業を実施します。
交通体系の整備		
9 バス運行対策事業	82,204 (81,030)	地域住民の生活交通を確保するため、災害で県道が寸断されている神川、育生、井戸町瀬戸地区に対して、迂回してバスを運行します。
10 過疎交通対策推進事業	1,026 (329)	平成22年度から実施された過疎地有償運送制度に対して、継続的な意向調査を実施します。また、有償運行制度の利用促進及び検診等の参加者増を図るため運行費用の補助を行います。
道路		
11 橋梁長寿命化修繕計画事業	56,000 (4,000)	市道の15m未満の橋梁の長寿命化計画策定と既に計画を策定している15m以上の橋の補修を行います。
環境保全		
12 緑のカーテン運動推進事業	268 (229)	地球温暖化の進行を抑制するため、夏場の冷房によるエネルギー消費量削減に効果がある緑のカーテン(壁面緑化)運動を推進します。
小計 12事業	459,095 (222,953)	

事業名	事業費	事業内容
5 まちづくりの進め方		
1 地域おこし協力隊等事業	22,876 (21,045)	各地区へ「地域おこし協力隊」及び「集落支援員」を配置し、集落機能の強化を図ります。
2 移住・交流推進事業	535 (318)	都市部での移住・交流に関する情報発信等、都市部の移住希望者のニーズにあった移住・交流事業を推進し、定住人口の増加を目指します。
3 あいさつ運動推進事業	767 (200)	地域の絆の再生、市民のおもてなし力の向上により防犯・環境・交流の各分野で地域力を高めます。
4 「美し国おこし・三重」支援事業	806 (720)	地域の多様な主体が、地域の特色ある自然や歴史・文化などを活用して取り組む地域づくり活動について、立ち上げ段階での財政的支援並びに人材育成及び活動への助言等の支援を行います。
小計 4事業	24,984 (22,283)	
総計 42事業	1,050,312 (762,541)	

平成24年度3月補正予算追加予定事業

単位:千円

事業名	事業費	事業内容
1 産業の振興		
集客・交流		
1 鬼ヶ城センター複合施設建設事業	200,000	鬼ヶ城センター複合施設の駐車台数を多くするため、海側に駐車場を拡大します。
農業		
2 震災対策農業水利施設(ため池)一斉点検事業	420	点検によりため池の現状を把握し、今後の工事实施の可否を判断します。
水産業		
3 遊木地区漁港漁村環境整備事業	126,000	遊木漁港内に建設予定の新たな魚市場の完成後、漁業者等が安全、安心して活動できるように、北防波堤を延長して港内の静穏度向上を図ります。
小計 3事業	326,420	
2 教育・文化の振興		
生涯スポーツ		
1 市体育館耐震補強事業	132,924	市体育館の耐震補強を実施します。
小計 1事業	132,924	
3 生活環境の整備		
道路		
1 橋梁長寿命化修繕計画事業	55,000	市道の長さ15m未満の橋梁の点検と災害時に集落孤立化の恐れがある藤後橋(五郷町)、上大又橋(飛鳥町)の補修を行います。
2 トンネル長寿命化計画事業	4,000	市道に4本のトンネルがありますが、点検を実施し、トンネルの長寿命化修繕計画を作成します。
小計 2事業	59,000	
総計 6事業	518,344	

平成25年度一般会計当初予算の主な内容

事業費の()は平成24年度当初予算額

①産業の振興

「地域資源を活かした、独創性のある産業が発展するまち」

1 集客交流の推進

(1)観光業

(ア)高速道路開通記念事業

(新規) 高速開通！熊野！1億円キャンペーン！【全課】 1億992万5千円

いよいよ平成25年度は高速道路が開通するため、開通に向けたムードを盛り上げ、集客アップ、産業振興を図るため、各種イベントなどに市役所全課挙げて取り組みます。毎月第4週に行われるグルメイベントや花火大会などの集客アップ事業、開通直前に開催予定のマラソン、ウォーキング大会やステージイベントなどの開通イベント、その他各種スポーツイベントや演奏会、市民向けの講演会、獅子岩・花の窟のライトアップ、駅前周辺などの市街地のイルミネーション、熊野大花火大会での記念花火打ち上げ、TV・ラジオ等による集客増のためのPR、そして市内各種団体にも協力要請し、開通を盛り上げる事業を実施していただく場合補助を行うなど全部で43の事業を行います。(P11～13)

(イ)受入態勢の向上

(新規) 湯ノ口温泉施設周辺整備事業【地域振興課】 2,553万円

老朽化が進んでいる湯元山荘湯ノ口温泉の本館の建て替えに向けて、平成27年度完成予定の奥瀬道路、国道311号の改良を見越し、平成25年度は設計業務を行います。

(新規) 誘客・周遊拠点施設整備事業【観光スポーツ交流課】 2,980万円

高速開通に向け、中心市街地の賑わいを創出するため、本町通りの古民家を改修します。また、ツアーデザインセンター、駅前特産品館、お綱茶屋などを関連付けるソフト面の整備を同時に行うことで、駅前、記念通り、本町通り、鬼ヶ城、花の窟をつなぐ中心市街地を観光客に回遊してもらい、賑わいを創出します。

(新規) 小阪公衆トイレ設置補助事業【観光スポーツ交流課】 350万円

公衆トイレの整備事業を行う小阪区に対し、補助を行います。

(継続) 熊野市集客倍増・おもてなしアップ推進事業【観光スポーツ交流課】 22万5千円

市内の観光施設運営者、宿泊業者、運輸業者、旅行業者等の参画による熊野市集客倍増・おもてなしアップ推進会議を設置し、観光客の集客向上に向けた取り組みを行います。

(継続) 鬼ヶ城センター複合施設建設事業【観光スポーツ交流課】 1億9,843万1千円
鬼ヶ城にレストラン、地域物産販売店、情報発信スペース等の複合施設を整備します。平成25年度においては、外構工事、芝生広場、駐車場等の整備を行います。

(継続) 特産品活用名物料理創作事業【観光スポーツ交流課】 20万円
来訪者にまた来たいと思っただけけるよう、熊野地鶏、新姫など地元特産品を活用した名物料理を創作します。

(ウ)観光地としての魅力創造

(新規) 熊野新発見ツアー事業【観光スポーツ交流課】 2万円

観光客が訪れたとき市民が簡単な観光案内ができるように、市内観光資源を周遊してその魅力を理解してもらいます。市民が地元観光スポットを再認識することにより、おもてなし力の向上を目指します。

(新規) 道の駅ガイドマップ情報発信事業【観光スポーツ交流課】 36万8千円

中部圏約120箇所の道の駅に配布されるガイドマップに熊野市の観光情報を広告掲載し、自動車を利用する観光客の誘客を図ります。

(増額) 新たな集客・交流推進検討事業【観光スポーツ交流課】

151万8千円(107万8千円)

鬼ヶ城、花の窟、観光物産会館などの滞留利用拠点づくりに加え、駅前周辺、記念通り・本町通り周辺といった道路やまち並み景観に対しても来訪者や地域住民を大切にするホスピタリティ表現を盛り込むなど集客・経済波及効果の期待できる構想を検討します。

(継続) 観光大使事業【観光スポーツ交流課】 67万3千円

熊野市にゆかりがあつて、観光業などに精通した方々に観光大使になっていただき、熊野市の魅力、良さを国内外にPRしてもらいます。また、観光大使のアドバイスを今後の観光施策に反映します。

(継続) 徐福の里魅力向上事業【観光スポーツ交流課】 62万円

徐福伝説を活用し、波田須周辺の地域資源の魅力を高め「徐福の里」波田須を国内外に発信します。

(エ)体験型観光の促進

(新規) 田舎を知る体験モニターツアー事業【市長公室】 34万3千円

都市と熊野市の交流を図るため、2つの体験モニターツアーを実施し、評価が高ければ、平成26年度の熊野市観光公社の商品としての販売を目指します。

(新規) ブルートゥーリズム集客推進事業【水産・商工振興課】 10万円

より多くの人々に熊野市のブルートゥーリズムメニューを体験していただけるよう、都市部の旅行エージェントに積極的なPR活動を行うとともに、利用者のニーズに応じたメニュー開発も平行して行って、集客増を図ります。

(継続) 観光公社事業【観光スポーツ交流課】 1,615万5千円

熊野古道を核として地域の観光資源を組み合わせた旅行や体験プログラムの企画や実施、旅行代理店への宣伝、宿泊施設の紹介などのほか、滞在型の観光を推進することにより、観光の振興と観光関連産業及び地域経済の活性化を図ります。また、宿泊施設や食の面で指導的立場をとり、観光客の受入態勢の向上を図ります。

(継続) 丸山千枚田虫おくり支援事業【地域振興課】 27万2千円

丸山千枚田の虫おくり実行委員会が主催する「丸山千枚田の虫おくり」に対し支援を行います。

(オ)集客交流の促進

(増額) 熊野那智黒碁石囲碁祭り開催事業【観光スポーツ交流課】 50万円(25万円)

日本棋院三重県支部連合会が主催する「囲碁の祭典」と「紀州熊野地区囲碁大会」を熊野で同時開催し、那智黒石の郷、熊野市をPRするとともに、県内外から多数の囲碁愛好家に来ていただき、宿泊客の増加につなげます。

(増額) 都市農村交流推進事業【農業振興課】 55万2千円(25万2千円)

都市住民(相模女子大学)と集落の都市農村交流を促進させ、百貨店での地域物産展への出展や大学祭への参加を行い、当市の特産品を販売します。

(継続) 熊野古道積極活用推進事業【観光スポーツ交流課】 159万5千円

熊野市の観光をPRするため、おもてなし事業、カメラ女子ツアーの開催、メディア交流会への参加、観光ポスターの作成等を行います。新たに25年度は「シーカヤックで青の洞窟探検&熊野古道ウォークツアー」を実施し、新たな集客を図ります。

(継続) 紀南中核的交流施設整備事業【市長公室】 2,535万5千円

滞在型の集客交流施設の整備を行う(株)エムアンドエムサービスに対し支援を行います。

(継続) 小船梅まつり・小森桜まつり・火祭り・ふるさとまつり開催事業

【地域振興課】 430万円

地域の活性化と地域振興のため、伝統あるまつりを継続して実施します。

(継続) 観光イベント開催事業【観光スポーツ交流課】 295万円

各種観光イベント事業に対し、事業費の一部を支援することによってイベントの充実を図り、観光地としての宣伝活動及び観光客の誘致を行います。

(カ)観光客の利便性向上

(継続) 熊野古道シャトルバス運行事業【観光スポーツ交流課】 155万6千円

中京圏から熊野古道伊勢路への古道客誘致のために運行されている「熊野古道シャトルバス」への運営費の一部を負担します。

(2) スポーツによる集客交流

(ア) 大会・合宿誘致

(継続) スポーツフェスティバル開催事業【観光スポーツ交流課】 1,021万2千円

ソフトボール、ベースボール、ラグビー、柔道、ソフトテニスのフェスティバルを開催し、スポーツを通じた集客・交流を促進します。

(継続) 海水浴場魅力向上事業【観光スポーツ交流課】 39万円

海水浴場の魅力を高め、通年型の集客に結びつけるため、シーカヤックマラソン大会、ビーチサッカー大会を実施します。

(継続) 還暦野球熊野大会開催事業【観光スポーツ交流課】 60万円

山崎運動公園くまのスタジアム等で、還暦の部16チーム、古希の部4チームによる「還暦野球熊野大会」を開催し、市の情報発信、集客効果の増大を図ります。

(継続) 紀伊半島グラウンドゴルフ大会開催事業【観光スポーツ交流課】 5万円

平成25年5月に紀伊半島グラウンドゴルフ大会を開催し、地域の活性化、観光客誘致による集客の拡大を進めます。

(継続) 紀伊半島寿野球大会開催事業【観光スポーツ交流課】 100万円

三重・和歌山・奈良3県等からの参加チームにより寿野球大会を開催し、都市間の交流を行うことにより、地域振興を図ります。

(継続) 熊野学童軟式野球大会開催事業【観光スポーツ交流課】 50万円

学童軟式野球大会を開催し、他地域からの集客を行うことにより、地域振興を図ります。

(継続) 紀伊半島ビーチバレーボールフェスタ開催事業【観光スポーツ交流課】 15万円

平成25年7月に新鹿海水浴場において紀伊半島ビーチバレーボールフェスタを開催することにより、海のまち「新鹿」をPRし、ビーチバレーを通じて集客の拡大、地域の活性化を

図ります。

2 商工（鉱）業の振興

(1) 商 業

(ア) 販売・輸出の強化

(新規) 熊野古道ふるさと便検討事業【水産・商工振興課】 7万円

市外への輸出戦略の一環として、市内の物産の詰め合わせパック開発の調査・研究を行います。

(継続) 物産展開催事業【水産・商工振興課】 69万円

市外への輸出を促進するため、物産展、商品展示会等へ参加し、バイヤーとの連携強化を行います。

(イ) 中小小売業の活性化

(新規) 小規模事業者振興資金利子補給事業【水産・商工振興課】 1,500万円

高速道路開通を控え、もてなしアップの改善やこの機会に事業規模の拡大や新規の創業を考えている市内事業者に対して、そのリスクを軽減するため、事業者が日本政策金融公庫の経営改善貸付制度及び三重県小規模事業者資金制度を活用して融資を受けた場合に、その利息の一部を補助します。

(新規) 商店街活性化事業計画策定支援事業【水産・商工振興課】 23万3千円

中心市街地の活性化のために必要な商店街活性化事業計画を策定し、商店街振興に必要なソフト・ハード整備事業の進捗を図ります。

(新規) 東紀州雇用実践支援強化事業【水産・商工振興課】 19万4千円

事業者の経営能力の増強や新たな販路開拓を行うため、事業者の地域外研修を行います。

(新規) 首都圏営業拠点活用調査事業【水産・商工振興課】 6万5千円

三重県が平成25年夏に東京日本橋に開設する首都圏営業拠点において、どのように熊野市の特産品の販売や観光イベント等のPRを行うか、検討を行います。

(継続) きのもと商いPR支援事業【水産・商工振興課】 61万6千円

熊野市商店連合会が本町通、記念通り商店街などに呼びかけて実施する百円市や一店逸品活動などのPR費用を支援し、個々の商店主が独自の発想で自己商品の販売戦略を考え魅力ある店作りに努めることを支援します。

(継続) 若者起業支援・チャレンジショップ支援事業【水産・商工振興課】 182万5千円
市内の商店街等における空き店舗を活用した若者の起業に対し、家賃の2分の1以内で最高2年間補助します。

(継続) 記念通り商店街活性化事業【水産・商工振興課】 204万1千円
住民の憩いの場として利用されている「いこらい広場」を様々な人が利用できるスペースとして活用します。また、毎月「いこらい市」を開催します。

(継続) 若者起業支援・融資助成事業【水産・商工振興課】 75万円
若者が市内で起業する際、金融機関から起業のために融資を受ける場合において、利子の一部(融資金額の3%・補助対象融資限度額500万円、補助上限15万円)に対して補助を行います。

(2)工(鉱)業

(ア)新たな製品の創造

(継続) 新規特産品開発事業【水産・商工振興課】 366万7千円
熊野市唯一となる地酒の生産・加工に取り組むため、育生町の伝統特産品である「どぶろく」の特産品としての定着と推進を図り、販売を開始します。

(3)就業機会・人材育成

(ア)雇用機会の拡大

(継続) 緊急雇用創出事業【水産・商工振興課】 861万9千円
離職を余儀なくされた、非正規労働者や中高年齢者等の失業者に対し、短期の雇用・就業機会の創出を図ります。

(ア)人材育成

(継続) 人材育成支援事業【水産・商工振興課】 100万円
就業機会の拡大と市内での新たな職種の起業を促進するため、起業を志す市内居住者などが新たに知識、技術を習得するために必要な経費を融資します。

3 農林水産業の振興

(1)農 業

(ア)農業者の確保・育成対策

(新規) 地域おこし協力隊農業支援事業【農業振興課】 725万4千円

農業従事者の高齢化や担い手不足により、たかな等の特産品についても生産量が減少傾向にあるため、新たな担い手を確保して、耕作放棄地の解消、特産品の安定生産につなげます。

(継続) 新規就農者確保事業【農業振興課】 738万1千円

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後の所得を確保するため補助金を交付します。

(継続) 農業公社事業【農業振興課】 964万6千円

施設野菜等を志す方にふるさと公社の研修施設及び圃場において、2年間研修生として、生産技術や経営管理を学んでいただき、地域に根付く有能な新規就農者を確保し、生産拡大、耕作放棄地解消を目指します。

(継続) 戸別所得補償制度推進事業【農業振興課】 240万1千円

本格実施される「戸別所得補償制度」を適正かつ円滑に実施するため、各種事務及び必要な取組を実施します。

(継続) 新規就農支援事業【農業振興課】 371万円

UIターン等新規就農に向けた研修生に、日額2,000円を補助します。6か月の研修終了後、研修終了者に対し18か月間、月額10万円の自立経営を促進するための融資を行います。8年間定住して農業を継続して営んだ場合には、その後の償還を免除します。

(継続) 新規就農者等施設園芸補助事業【農業振興課】 300万円

UIターン新規就農者に対し、施設園芸用設備の整備を行う場合、費用の一部を補助します。

(継続) 農業担い手対策補助事業【農業振興課】 96万円

新たに転入して農業に従事するUIターン農業担い手に対し、家賃の一部を補助します。

(イ)市場競争力のある農産物・加工品による輸出力強化

(新規) 芋類活用検討事業【農業振興課】 91万4千円

セレベスや安納芋などの熊野産芋類を原材料として菓子店等に提案するほか、備蓄用加工品・冷凍焼き芋等として活用できないか関連業者に提案していきます。

(新規) 地場産野菜発掘事業【農業振興課】 5万円

市内各地域で生産されている農産物を詳しく産地マップ化することにより、食品関連業者

へ積極的に売り込みをかけ販路拡大につなげることで、農家所得の向上や山間地域の活性化を図ります。

(新規) 柑橘高品質化推進事業【農業振興課】 306万円

柑橘の高品質化を図り、他産地との差別化を図るため、栽培資材(マルチ材)を新規に購入する場合、費用の一部を補助します。

(新規) 特用林産物きくらげ試験栽培事業【林業振興課】 43万2千円

湯ノ口温泉敷地内にある温室を利用して、きくらげの試験栽培を行い、新たな特産品の創出を図ります。

(増額) 熊野地鶏振興事業【地域振興課】 113万7千円(63万8千円)

「熊野地鶏」を市の特産品としてブランド化を図り、市内・外でPR活動を実施し、販売促進に力を入れます。

(増額) 「熊野の木ノ子」栽培事業【林業振興課】 147万2千円(42万2千円)

紀和町にある旧石原産業の坑道を利用し、ハタケシメジ等の菌床栽培を実施し、新しい特産品として商品化を図ります。

(継続) すきま野菜等栽培試験事業【農業振興課】 67万7千円

消費者への販売向けの農産物栽培ではなく、業者からの引き合いの強い加工用野菜等を栽培し、農業者の所得安定や新規就農者等への提案作目となるようにつなげます。

(継続) 地域農業マスタープラン策定事業【農業振興課】 58万9千円

地域の営農継続、耕作放棄地の減少などを図るため、中心となる経営体への農地の集積やその他の農業者を含めた地域農業のあり方を話し合い、マスタープランを作成します。

(継続) 農用地利用集積特別対策事業【農業振興課】 150万5千円

地域農業マスタープランによって決定された農地の集積を促進します。

(継続) 「新姫」特産品化推進事業【農業振興課】 721万6千円

「新姫」を特産品として振興していく上で、既に商品化しているぽん酢、ドリンク、果汁、アイスクリーム等の販売強化に努め、新たに塩ぽん酢、化粧品などの商品を増やし、「輸出力」をつけて、売り上げ増を図っていきます。

(継続) 特産品等開発事業(一地域一品運動)【農業振興課】 300万円

地域の人材や資源の活用により、地域の活性化と雇用の創出につながる食品加工・産直施設・伝統工芸・特産品開発事業を行う個人、または、団体の活動に要する経費に対し、支援を行います。

(ウ)農村環境の整備と農地の適正な管理

(増額) 農免農道整備事業【農業振興課】 583万4千円(466万7千円)

農免農道開設事業により国道311号から農村公園、防災拠点施設などを経て、県代行久生屋金山線への中核交流施設核心部にいたる2車線幹線農道の開設について事業を実施します。

(継続) 県営中山間地域総合整備事業【農業振興課】 3,750万円

中山間農村地域の活性化と集客交流の場の提供並びに農業生産力の向上と労働力の軽減、農村生活環境の改善を図ります。

(継続) 県営畑地帯総合整備事業【農業振興課】 4,050万円

高品質柑橘の生産を可能とする用水及び排水路の改良、道路整備を基本とした生産基盤整備を行います。

(エ)獣害対策

(新規) 有害鳥獣被害対策事業【農業振興課】 1,007万2千円

鳥獣による農作物への被害が市内全域で深刻化しているため、有害鳥獣被害防止実施隊を組織して、獣害対策に関するきめ細やかな地域指導を行います。

(増額) 有害鳥獣駆除事業【林業振興課】 694万5千円(686万5千円)

鳥獣害対策として、有害鳥獣買上事業、有害鳥獣出動奨励事業を行います。

(継続) 農林産物獣害対策事業【農業振興課】 310万3千円

農林産物への被害を防止するために設置する電気柵等の資材を支援し、農林産物の安定生産を図ります。

(オ)(財)紀和町ふるさと公社の役割

(継続) ふるさと公社事業【地域振興課】 6,237万9千円

熊野地鶏や新姫、味噌などの特産物の生産・加工・販売や瀨流荘、湯ノ口温泉の観光サービス事業などを行います。平成23年4月から「ふるさと特産物加工所」が稼動し、特産物の生産・加工体制が整ったので、販売についてこれまで以上に力を入れ、市と公社の連携を取りながら「輸出力」が一層大きくなるよう努力していきます。また、集客交流の核となる鬼ヶ城センター複合施設の管理運営を新たに行うことにより、市の地域振興、雇用拡大に貢献していきます。

(継続) 丸山千枚田保全事業【地域振興課】 1,724万5千円

丸山千枚田の稲作・草刈作業及び水口・畦畔・石垣等の補修作業を地元保存会の協力

を得て行い、観光資源、文化資源としての活用を図り、農耕文化の継承に努めます。

(2)林業

(ア)市民と共存する豊かな森づくり

(新規) 林業高能率機械化促進事業【林業振興課】447万5千円

熊野原木市場の作業の効率化を図るため、木材作業専用車の更新費用の一部を補助します。

(増額) 森林組合合併補助事業【林業振興課】200万円(100万円)

24年4月に熊野市森林組合と紀南森林組合が合併し誕生した三重くまの森林組合に対して、合併後の初期必要経費や経営基盤を強化する事業について補助を行い、経営の効率化を促進します。

(増額) 森林病虫害防除事業【林業振興課】146万5千円(93万1千円)

花の窟、獅子岩、有馬町防風保安林内の松喰い虫防除を実施します。

(増額) 森林整備加速化・林業再生基金事業【林業振興課】3,501万円(3,001万円)

林道専用道を開設し、森林整備を効率化します。

(増額) オフセットクレジット推進事業【林業振興課】106万4千円(60万円)

市内の森林によるカーボン・オフセットを推進するため、CO2吸収量認証であるオフセット・クレジット(J-VÉR)の取得、販売を推進します。

(増額) 甲虫類飼育生産事業【林業振興課】20万円(6万円)

紀和町のクヌギ山を利用し、甲虫類の産卵場所を人工的につくり増殖させることで、自然豊かな森づくりとともに、観光客に昆虫採取の体験メニューを提供します。

(増額) 林内作業道開設事業【林業振興課】216万円(144万円)

森林組合が開設する作業道について、支援を行います。

(継続) 林道開設事業【林業振興課】1億1,550万円

林道高代山・大井川線開設事業、他1路線の開設事業を実施します。

(継続) 森林環境創造事業【林業振興課】3,000万円

環境林の間伐、植栽、下刈、歩道整備、現地調査を実施することで山林の持続的な管理を行い、山林の活性化を図ります。

(継続) 森林再生による野生鳥獣の生息環境創出事業【林業振興課】1,000万円

かつて野生鳥獣の生息地となっていた森林を再生することにより、集落周辺への野生鳥

獣の出現の減少を図ります。

(継続) 施業集約化促進対策事業【林業振興課】809万4千円

集約化施業により搬出間伐を推進するため、小規模森林所有者を取りまとめ合意形成を図ります。合意形成への取組に必要な森林情報の収集・現況調査・境界確認等の森林所有者の合意形成等活動への支援を行います。

(継続) 民有林境界測量促進事業【林業振興課】58万8千円

民有林の位置、境界をGPS等を使用しながら測量・調査する費用の一部を補助します。

(イ)林産物の需要拡大と安定供給体制づくり

(増額) 「熊野の木」新たな特産品づくり事業【林業振興課】80万3千円(30万円)

間伐材を含めた熊野の木材を有効活用するため、都市部の大学でデザインなどを専攻する学生のアイデアを活用し、商品化を検討します。

(継続) 熊野材輸出促進事業【林業振興課】152万8千円

市と熊野木材協同組合が一体となって熊野材輸出促進のための協議会を設置し、熊野材の産地化を進めることによって消費者の認知度を深め、工務店などに営業活動を行うことにより、都市部での需要拡大を図ります。

(継続) 木造住宅建設促進対策事業【林業振興課】1,100万円

地元産材の活用を通して建築関連産業の活性化を図るため、熊野材を使用した住宅建築者にレインボー商品券の購入を助成します。

(ウ)後継者育成

(継続) 林業担い手対策事業【水産・商工振興課】24万円

新たに転入して林業に従事するI・Jターン林業担い手の家賃を2年間助成します。

(3)水産業

(ア)水産資源の安定的確保と漁業基盤の整備

(新規) 水産物直販施設整備事業【水産・商工振興課】1,008万1千円

高速道路開通にあわせ、市の観光の玄関口となる鬼ヶ城に集客及び魚価向上のため、市内の市場に水揚げされた新鮮な魚介類を中心とした水産物直販施設の整備を行います。

(新規) 南母漁港改良事業【水産・商工振興課】1,200万円

甫母漁港の泊地へ土砂が堆積し、漁船の係留、航行に支障をきたしていることから、浚渫工事を行います。また、漁港入り口に門扉を設置し、漁業者や関係者が安全・安心に漁業活動ができるようにします。

(新規) 遊木漁港改良事業【水産・商工振興課】 450万円

遊木漁港内に建設予定の魚市場用地に面した道路について、陥没箇所の復旧及び排水溝側溝の整備の改良を行います。また、水門の操作盤等の改良工事も合わせて行います。

(継続) 遊木地区漁港漁村環境整備事業【水産・商工振興課】 1億円

遊木漁港内に建設予定の新たな魚市場の完成後、漁業者等が安全、安心に活動できるように、北防波堤を延長して港内の静穏度向上を図ります。

(継続) 新規養殖魚調査研究事業【水産・商工振興課】 62万6千円

マダイに代わる新たな養殖魚としての可能性を探るため、マハタを試験的に養殖します。

(継続) 水産多面的機能発揮対策事業【水産・商工振興課】 66万5千円

地域活動組織が実施する水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する活動(藻場の環境保全、沿岸域の環境保全など)について支援を行います。

(継続) 種苗放流事業【水産・商工振興課】 356万7千円

トラフグ、ヒラメ、マダイの放流に加え、魚価が高く放流後の定着性のあるカサゴの放流を実施し、水産資源の維持・増大と漁家所得の向上・安定を図ります。

(イ)ブランド化と輸出の拡大

(継続) 熊野活〆(いけじめ)流通促進事業【水産・商工振興課】 19万8千円

平成25年度中に完成する予定の衛生管理型魚市場に水揚げされる安全・安心で、なおかつ活〆により鮮度保持に特に配慮された地魚が食べられるお店を紹介するパンフレットを作成、配布することで、地域内飲食店への集客を図るとともに、地域外に向けての熊野産の水産物のPRを行います。

(継続) 漁業6次産業化推進事業【水産・商工振興課】 80万円

漁業関係者等と産地協議会を設置し、漁業の6次産業化に資する取組を行います。

(ウ)内水面漁業の振興

(継続) 漁協淡水魚放流事業【水産・商工振興課】 135万円

水産動植物の増殖保護と漁獲高の向上を図るため、大又川飛鳥五郷、紀和町、北山川神川の各漁協によるアユ、ウナギ、アマゴの放流に対し、助成を行います。

(エ)後継者育成

- (増額) 漁業担い手対策事業【水産・商工振興課】 192万円(92万円)
漁業経営体に雇用されたI・Jターン新規漁業就労者の家賃を2年間助成します。
- (継続) 漁業新規就業者支援事業【水産・商工振興課】 44万4千円
熊野漁協による漁業新規就業者支援事業に対し補助を行います。

②保健・医療・福祉の充実 「支え助け合い、健やかにいきいきと暮らせるまち」

1 支え合い助け合う福祉の充実

(1)高年齢者福祉

(ア)高年齢者の健康づくり

(新規) 高年齢者聴覚チェック事業(介護予防一次予防事業)【健康・長寿課】 19万5千円

70歳以上の高年齢者を対象に、聴覚検査を実施して、必要に応じて耳鼻科受診につなげます。

(継続) 骨粗しょう症予防事業【健康・長寿課】 7万3千円

加齢とともに骨密度が低下しやすい女性を対象に骨密度チェックを実施し、健康教育を施すことによって、将来骨粗しょう症になることを防ぎます。

(継続) 成人歯科保健対策事業【健康・長寿課】 34万9千円

歯を失う最大の原因になっている歯周疾患の予防と早期発見を行うため、40歳、50歳の節目の年齢の方に検診、保健指導を行います。

(継続) 介護予防ケアマネジメント事業【健康・長寿課】 4,312万9千円

介護予防事業、新予防給付の対象となる高年齢者の把握を行い、対象者に応じた介護予防のケアマネジメントを行います。

(継続) 介護予防一次予防事業【健康・長寿課】 3,211万8千円

65歳以上の高年齢者に対する健康相談や健康教室、高年齢者伝承遊び普及、水中運動、筋力向上トレーニング、ふれあい会食、聴覚チェックなどを実施し、生活習慣改善及び要介護予防につなげます。

(継続) 介護予防二次予防事業【健康・長寿課】 179万4千円

要介護状態の予防のため、要介護状態になる可能性の高い高年齢者の把握や評価をし、運動機能の向上、栄養相談、口腔機能改善などを実施します。

(イ)高年齢者の生きがいと社会参加の促進

(継続) 若返りクラブ事業【健康・長寿課】 144万円

高年齢者がいつまでも地域で元気に過ごすために、外出の機会を増やし、長く活動できる趣味と将来にわたって助け合える仲間づくりの場として支援していきます。

(ウ)ともに支え合える地域社会づくり

(新規) 特別養護老人ホーム整備費補助事業【健康・長寿課】 1億5,000万円

旧飛鳥小学校跡地を利用して社会福祉法人杏南会が特別養護老人ホームを建設するに当たり、整備費の一部を補助します。

(増額) 食の自立支援事業【健康・長寿課】 631万9千円(342万円)

在宅の一人暮らしの高齢者等に対して、定期的に居宅を訪問し、栄養のバランスがとれた食事を提供するとともに、安否確認、孤独感の解消を図ります。

(継続) 自殺対策事業【健康・長寿課】 100万円

講演会の開催や相談機会・情報キャッチの方法を充実させることにより、自殺の予防に努めます。

(継続) 緊急通報装置設置事業【健康・長寿課】 28万1千円

在宅の一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置し、高齢者の急病、災害発生時の緊急時等の連絡・援助体制を確立し、不安の解消、日常生活の安全の確保により、高齢者福祉の向上を図ります。

(継続) 元気見守り事業【健康・長寿課】 180万9千円

地区社協の福祉委員を中心として、定期的な訪問やはがき、電話による見守り活動を行い、一人暮らし高齢者等の見守り、安否確認を実施します。

(継続) 家族介護者交流事業【健康・長寿課】 73万1千円

認知症高齢者の家族介護者への相談、指導、介護技術の習得支援、情報交換、交流等を行います。

(エ)相談・支援体制の充実

(増額) 元気確認ふれあいノート事業【健康・長寿課】 31万円(5万9千円)

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにするため、75歳以上の一人暮らし高齢者で見守りを希望する方を対象に「元気ふれあい確認ノート」を配布し、見守りを希望する高齢者がどれくらい訪問を受けているか把握し、訪問頻度の少ない人に対して、今後どのような見守りを行っていくかを検討します。

(継続) メタボリックシンドローム改善強化事業【健康・長寿課】 29万2千円

国民健康保険の特定保健指導の対象者に対し、個別訪問による改善のための指導などを実施して、メタボリックシンドロームの予防、改善を図ります。

(継続) 元気づくり推進員育成事業【健康・長寿課】 92万7千円

元気づくり推進員を育成し、健康診査やがん検診の推進、健康づくり事業のPRを行います。地域に密着した健康づくりを実施することで、市民の健康への意識を高めます。

(継続) 集落支援事業【健康・長寿課】 386万8千円

集落支援員を設置し、過疎集落等における住民同士による高齢者の見守り活動や、草刈、清掃等の生活環境維持の支援を行います。

(継続) 一人暮らし高齢者等安心生活確保事業(救急医療情報キット配備事業)

【健康・長寿課】 17万6千円

一人暮らし高齢者等の要援護者の有事における救急対策として、飲み薬や血液型、病歴等の医療情報や診察券、健康保険証、緊急時連絡先等の情報をキットにまとめて居宅に配備します。

(継続) 認知症サポーター養成事業【健康・長寿課】 17万3千円

講師役のキャラバンメイトを養成し、講演会・研修会を開催することで、認知症を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する認知症サポーターを養成します。

(継続) 総合相談・権利擁護事業【健康・長寿課】 498万2千円

社会福祉士が中心となり、高齢者の実態把握、総合相談・支援及び権利擁護に関する業務を行います。

(継続) 介護用品支給事業【健康・長寿課】 365万3千円

重度の介護状態にある高齢者を自宅で介護している市民税非課税世帯の家族に対し、介護用品を支給します。

(継続) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業【健康・長寿課】 488万6千円

地域のケアマネージャーに対する相談、資質向上のための研修や制度施策に関する情報提供、支援困難事例への助言、包括的・継続的なケア体制の構築を行います。

(2)障がい者福祉

(ア)地域生活への移行支援

(新規) 障がい者(児)紙おむつ給付事業【福祉事務所】 57万6千円

在宅生活している重症心身障がい者(児)に対して、紙おむつを給付します。

(増額) 障がい者自立支援事業【福祉事務所】 4億2,757万2千円(4億509万7千円)

障がいを持った方々に対して、居宅でのホームヘルプサービスや施設でのサービスを提供するほか、補装具や日常生活用具を支給することにより、自立した生活を支援します。

(継続) 障がい者相談員設置事業【福祉事務所】 5万円

身体障がい者及び知的障がい者の更正援護に関し、本人又はその家族等からの相談に応じ、必要な指導、助言を行うとともに、障がい者地域活動の推進、関係機関の業務に関する協力、障がい者に関する援護思想の普及を行うことにより、障がい者の福祉の増進を図ります。

(イ) 就労支援と社会参加

(継続) 訓練施設等通所交通費補助事業【福祉事務所】 169万6千円

在宅の障がい者、知的障がい者及び精神障がい者が訓練施設等に通所するための費用の一部について補助を行います。

(継続) 重度障がい者等管外施設送迎費補助事業【福祉事務所】 16万円

市外施設を利用する重度障がい児(者)に対する移送費用について、補助を行います。

(3) 子育て支援

(ア)母と子の健康づくり

(新規) おたくふかぜ予防接種助成事業【健康・長寿課】 37万7千円

おたくふかぜの罹患や重症化を防ぐため、ワクチン接種費用の一部を助成します。

(新規) 水痘予防接種助成事業【健康・長寿課】 50万3千円

水痘(みずぼうそう)の罹患や重症化を防ぐため、ワクチン接種費用の一部を助成します。

(継続) 保育所フッ化物洗口事業【福祉事務所】 43万8千円

虫歯予防のため、保育園児によるフッ化物洗口(うがい)を行います。

(継続) 小学校フッ化物塗布推進事業【教育委員会】 26万5千円

虫歯予防のため、小学校1年生の児童にフッ化物塗布を行います。

(継続) 幼稚園フッ化物塗布推進事業【教育委員会】 10万4千円

虫歯予防のため、幼稚園園児にフッ化物塗布を行います。

(継続) 幼児フッ化物塗布推進事業【健康・長寿課】 73万9千円

虫歯予防のため、1歳6か月、2歳6か月、3歳児にフッ化物塗布を行います。

(継続) 予防接種事業【健康・長寿課】 2,925万9千円

予防接種法、結核予防法に基づき、四種混合、三種混合、BCG、二種混合、日本脳炎等の予防接種を行います。

(継続) 麻しん、風しん予防接種推進事業【健康・長寿課】 286万8千円

麻しん、風しんの予防接種を強化し、公衆衛生の向上及び増進につなげます。

(継続) 任意予防接種補助事業【健康・長寿課】 140万6千円

任意予防接種のうち、BCG, MR, 麻しん、風しん、高齢者肺炎球菌、ロタウイルスに要する費用の一部を補助します。

(継続) 子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン接種緊急促進事業

【健康・長寿課】 1, 245万7千円

予防接種のうち子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン予防接種を行います。

(継続) 5歳児発達健診事業【健康・長寿課】 15万3千円

注意欠陥多動性障害、高機能広汎性発達障害、学習障害、軽度精神発達遅延の疑いがある子供について小児精神発達専門医師による就学前の健診及び相談を行います。

(継続) 少子化対策・妊婦一般健康診査事業【健康・長寿課】 1, 332万1千円

母子保健のしおりを発行するとともに、自己負担なしで受診していただける妊娠中14回の健康診査を医療機関に委託して行います。

(継続) 乳幼児療育教室(すぎっこ教室)事業【健康・長寿課】 52万2千円

発達に遅れのある幼児と保護者を対象に、保育士による集団活動や遊びの指導などによる発達支援のための療育教室を実施します。

(継続) 特定不妊治療費助成事業【健康・長寿課】 50万円

不妊治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療に要する経費の一部を助成します。

(継続) 食育推進事業【健康・長寿課】 18万9千円

幼児とその保護者に対して、教育用教材を配布することで、親子で食に関する正しい習慣を身につけ、生活習慣病を予防します。

(イ)安心して産み育てられる環境づくり

(新規) 中学生・高校生等医療費助成事業【市民保険課】 699万2千円

子育てを行っている世代の経済的負担を軽減し、安心して子育てのできる環境を整えるため、現在小学校修了前まで行っている医療費の助成を、平成25年9月診療分から中学生、高校生等まで拡大します。中学生は医療費の自己負担を無料に、高校生等(18歳の年度末まで)は医療費の自己負担を現在の3分の1とします。

(増額) 放課後児童対策事業【福祉事務所】 1,896万5千円(1,461万7千円)

保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、授業の終了後に施設を利用して、適切な遊び及び生活の場を提供して健全育成を図っている「くまのっ子学童クラブ」の運営費を支援します。

(増額) 少子化対策・ひとり親家庭自立支援事業【福祉事務所】 144万円(135万円)

くまのっ子学童クラブに入所するひとり親家庭の保育料の2分の1を補助します。

(継続) 井戸保育所民営化補助事業【福祉事務所】 200万円

平成24年4月から民間移行した井戸保育園の初期必要経費について、ひまわり保育園に3年間補助を行い、効率化を促進します。

(継続) 私立保育所延長保育促進事業【福祉事務所】 970万6千円

就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、保護者の希望に応じて、ひまわり保育所、井戸保育園で19時までの延長保育を実施します。

(継続) 少子化対策・子育て家庭保育サポーター利用助成事業

【福祉事務所】 110万4千円

子育ての不安感、孤立感を解消するため、小学校就学前の乳幼児を養育している家族が保育サポーターを利用した場合、利用料の2分の1、ひとり親家庭の場合は対象を小学6年生まで拡大し、利用料の4分の3を助成します。

(継続) ひまわり保育園運営費補助事業【福祉事務所】 676万5千円

ひまわり保育園に対して職員研修費や看護師等の雇用、低年齢児保育の実施などに要する経費の一部を補助し、保育サービスの充実を図ります。

(継続) 子育て支援センター事業【福祉事務所】 1,028万2千円

金山保育所内に職員を配置して保護者の育児不安や悩みに対する電話・面接相談及び情報提供を行い、子育て支援を行います。

(継続) 熊野市ファミリーサポートセンター事業【福祉事務所】 252万円(210万円)

ファミリーサポートセンターを設立し、児童の預かりについて連絡・調整を行います。

(継続) 児童手当給付事業【福祉事務所】 2億2,648万4千円

3歳未満の子ども一人につき月額1万5千円を、3歳以上小学校修了までの子ども(第1子、第2子)は月額1万円、3歳以上小学校修了までの子ども(第3子以降)は月額1万5千円、中学生は月額1万円を支給します。所得制限以上の方には月額5千円を支給します。

(継続) 少子化対策・婚活拡充事業【福祉事務所】 30万円

男女の出会いの場を作るため、出会いの活動を推進する団体が行う出会いの広場開催

等にかかる経費の一部を補助します。

(継続) チャイルドシート購入費補助事業【福祉事務所】 45万円

6歳未満の乳幼児のために購入したチャイルドシートの購入者に対し、助成を行います。

(継続) 少子化対策・多子家庭応援事業【福祉事務所】

18歳以下の子どもが3人以上いる世帯で、第3子以降が保育所に入所する場合、保育料を第3子は月額5千円、第4子は月額7千円、第5子以降は月額1万円をそれぞれ減額します。

(継続) 少子化対策・土曜日延長保育事業【福祉事務所】

引き続き土曜日の開所時間を延長し、保育サービスの充実を図ります。

①土曜日午後5時まで延長

有馬、金山

②土曜日午後1時まで延長

新鹿、木本、五郷、板屋、神川

(継続) 母子家庭高等技能訓練促進事業【福祉事務所】 414万2千円

母子家庭の母が就職の際有利になるよう、かつ生活の安定に資する資格の取得を推進するため、看護師、介護福祉士等の資格を取得する経費の一部を助成します。

(継続) 母子家庭自立支援教育訓練給付事業【福祉事務所】 20万円

母子家庭の母の主体的な能力開発の取り組みを支援し、母子家庭の自立の促進を図るため、就業に結びつく可能性が高く、国が定める講座等の受講費用の一部を助成します。

(継続) 障害児通所支援事業【福祉事務所】 1,048万5千円

障がい児を持った子どもに対して、日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練等を行います。

(継続) 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業【福祉事務所】 225万円

小児慢性特定疾患児に対して、特殊寝台等の日常生活用具を給付します。

(継続) 少子化対策・ふるさと商店街子育て支援事業【水産・商工振興課】 10万9千円

3人以上子どもがいる世帯に対して、市内の協賛店舗で買物することで、その購入額に応じてレインボー商品券と交換できるサービスが受けられるパスポートを発行します。

(ウ)地域や社会で子育てを支える環境づくり

(継続) 老人とのふれあい事業【福祉事務所】 97万1千円

保育園児と地域の老人との季節行事や手作り玩具の製作・伝承遊び等を通じてふれあい

を図り、子どもには「人を敬う心」を醸成するとともに、高齢者の生きがいをづくり、社会参加を促進します。

(4)社会保障等

(ア)福祉医療

(継続) 障がい者医療費助成充実事業【市民保険課】 154万4千円

療養手帳所持者の医療面での負担軽減を図るため、療養手帳A最重度・重度に上乗せして、B中度所持者の療養費を助成します。

2 健康長寿の推進

(1)健康づくり

(ア)健康づくり意識の向上

(新規) ワッハッハ健康ポイントラリー事業【健康・長寿課】 67万9千円

健診や健康に関連した事業への参加に応じて健康ポイントを集め、集めたポイントに応じて地元の特産品等の抽選に応募できるようにします。また、集めたポイント数により参加賞を進呈します。

(継続) がん検診事業【健康・長寿課】 1,432万円

がんの早期発見、早期治療を図るため、集団(検診車)、個別(医療機関)によるがん健診を行います。

(継続) がん検診推進事業【健康・長寿課】 340万5千円

がん健診の受診率を高めるため、啓発活動を実施したり、予防のための生活習慣についてPRなどを行います。また、乳がん、子宮がん、大腸がんの対象者に検診手帳、クーポン券と共に受診案内を送付し、有効期限内に受診した方に健診費用を補助します。

(イ) 生活習慣病予防

(継続) 健康相談・意識啓発・訪問指導事業【健康・長寿課】 19万3千円

健康診査受診者に対して個別相談、事後指導通知及び家庭訪問を実施し、本人やその家族に対し必要な保健指導を行います。

(2)医療体制

(ア)救急医療体制の充実

(継続) 救急救命士養成事業【消防署】 324万円

平成25年度においても1人養成を行います。また、現在救急救命士の資格を所有している隊員については、順次気管挿管の実習を実施します。

③教育・文化の振興 「人・歴史・文化を育み、心の豊かさに包まれたまち」

1 市民文化の創造

(1)文化芸術

(ア)文化芸術に触れる機会の提供

(継続) 文化交流センター企画事業【教育委員会】 67万2千円

文化交流センターにおいて展示会を企画・実施するとともに、来館者参加型のイベントを開催します。

(継続) 文化公演実施事業【教育委員会】 954万8千円

芸能文化に接する機会の少ない当地方において、芸能文化を鑑賞する機会をつくるとともに、地域文化の創作・育成を目指す企画も取り入れ、市民文化の向上を図ります。

(イ)総合的・体系的な生涯学習の推進

(継続) 図書ボランティア養成事業【教育委員会】 28万8千円

これまでの読み聞かせに加え、本の配架や補修等もできるボランティアを養成します。

(ウ)文化芸術活動の場の提供

(新規) 市民会館舞台装置改修事業【教育委員会】 740万円

市民会館舞台設備のうちの1つである天井反射板昇降装置の取替えを行います。

(継続) 図書館図書購入事業【教育委員会】 2,000万円

図書館図書を購入します。

(エ)文化的資源の継承と活用

(増額) 熊野街道歴史の道整備活用推進事業【教育委員会】 158万9千円(140万2千円)

世界遺産登録されている熊野古道の清掃、枝払い等を行い、きれいに保つことによって、イメージアップを図り、来訪者の増加につなげます。

(増額) 新「熊野市の文化財」図書編纂事業【教育委員会】 166万8千円(13万円)

23年度、24年度で編纂してきた合併後の新熊野市における文化財の内容をまとめた図書「熊野市の文化財」の印刷製本を行います。

(継続) 紀和鉱山資料館体験学習事業【教育委員会】2万4千円

鉱山ズリ場や坑道での体験学習事業を実施し、日常経験できない鉱山体験を通じて、鉱山への関心を深め、資料館の魅力発信につなげます。

(2)国際交流

(ア)国際交流の推進

(継続) 国際交流推進事業【市長公室】165万8千円

姉妹都市であるソレント市とバストス市との交流を推進します。また、ソレント市及びバストス市からの児童研修生の受け入れを行います。

(継続) 児童海外研修事業【教育委員会】300万円

姉妹都市であるソレント市に小学生5人を派遣します。

(3)地域間交流

(ア)友好都市との交流推進

(増額) 他地域交流検討事業【市長公室】34万7千円(28万7千円)

宮崎県日向市とは、碁石(那智黒石とハマグリ)や神武天皇東征の出発地と到着地などでつながりがあることから、姉妹都市の締結を視野に入れた各種交流事業を行います。

(継続) 友好都市交流事業【市長公室】13万3千円

友好都市である奈良県桜井市との友好を深めるため、熊野市からは「ウォーキングフェスティバル」や「さくらい農・商ふれあいフェスタ」などへ、桜井市からは「熊野大花火大会」などへの参加をはじめ各種交流事業を行います。

2 生涯学習社会の形成

(1)学校教育(義務教育)

(ア)学力向上の推進

(新規) 理科教育等設備整備事業【教育委員会】900万円

児童生徒の学力を向上させるため、教師の指導をより効果的にする理科教材を整備します。

(継続) 学力向上支援事業【教育委員会】32万4千円

小中学校において標準学力調査を実施し、その分析結果に基づく学力向上プランを作成し授業改善を行うことで、児童・生徒の学力向上を目指します。

(継続) 放課後学習プラン事業【教育委員会】 91万円

市内小学校5校を対象に、放課後2時間の学習会を開催し、学力向上を図ります。

(継続) 夏休み学習プラン事業【教育委員会】 36万円

市内小学校5校を対象に、夏休みに20日間の学習会を開催し、学力向上を図ります。

(継続) 外国語指導助手(ALT)配置事業【教育委員会】 1,506万7千円

外国語指導助手(ALT)を3名体制とし、市内小・中学校の児童・生徒と総合的な学習の時間、英語の時間等において交流、学習を行うことにより、英語教育を充実します。

(継続) 特色ある学校づくり事業【教育委員会】 120万円

児童生徒の実態や教育的ニーズを踏まえたうえで、学校独自の目標を立て「学力の向上」「社会性の育成」「防災教育の充実」等を目指します。

(イ) 教職員の資質の向上

(継続) 学力向上推進研修事業【教育委員会】 16万円

全国学力学習状況調査の結果を受け、研修会を開催し、授業方法の工夫と改善につなげます。

(ウ) 心の教育の推進

(新規) いじめ対策事業【教育委員会】 44万2千円

いじめを未然に防止するために学級満足度調査(QU調査)を実施して、学級の中での子どもたちの人間関係を明らかにし、課題を解決するため適切な指導を行います。

(新規) ICT映像を活用した自然環境学習事業【教育委員会】 100万円

ICT映像を活用した学習の中で、大規模災害によって損なわれた郷土の自然環境について再認識するとともに、効果的な環境教育を実施します。

(継続) 小中学校学級用図書購入事業【教育委員会】 221万3千円

児童生徒の読書の量と質の向上のため、学級用図書を購入します。

(エ) 特別支援教育の推進

(増額) 臨時特別支援教育支援員設置事業【教育委員会】

4,395万1千円(4,141万1千円)

知的、身体的障がいのある児童生徒に支援員を配置します。

(オ) 安全・安心な学校環境の整備

(新規) 給食調理場空調機器設置事業【教育委員会】 467万円

小学校の給食調理場に空調機器を設置し、食中毒の危険性を回避します。

(新規) 木本小学校校舎改修事業【教育委員会】 1,350万円

木本小学校の屋上改修工事などを行います。

(新規) 飛鳥小学校トイレ改修事業【教育委員会】 490万円

飛鳥小学校校舎各階及び屋内運動場の男女トイレにある和式大便器の1箇所を腰掛け便器に改修します。

(新規) 旧飛鳥小学校屋内運動場改修事業【教育委員会】 750万円

屋内運動場を避難所としてより使いやすくするために、男女各トイレに洋式便器を設置し、更衣室に畳を敷くなどの改修を行います。

(新規) 飛鳥中学校トイレ改修事業【教育委員会】 460万円

飛鳥中学校の校舎は旧小阪小学校の校舎を使用していますが、便器をはじめトイレ全体を中学生仕様にします。

(2) 学校教育

(ア) 防災教育

(継続) 小・中学校防災教育事業【教育委員会】 30万円

大規模災害時に児童生徒及び教職員が万全に対応できるよう、地域の実態に応じた防災教育を行います。

(イ) 高等学校等への要請と協力

(継続) 奨学金貸付事業【教育委員会】 660万円

大学、高等専門学校、専修学校で経済的理由により就学困難な生徒に対し、月額5万円を奨学金として貸与し、卒業後に償還を受けます。

(3) 生涯学習

(ア) 多様な生涯学習機会の提供

(新規) 熊野検定事業【教育委員会】 14万5千円

市内の観光に携わる関係者(宿泊施設、飲食店、タクシー等)を始め、市民がより深く熊野市を知るためにセミナー等を開催し、語り部やガイドができる人材を育成します。

(継続) 生涯学習事業【教育委員会】238万8千円

高度情報化、国際化等に対応した学習機会をつくるため、「熊野市市民大学」、「まちの人材活用事業」、「イタリア語教室」等の講座を開設します。

(4) 生涯スポーツ

(ア) 生涯スポーツの普及・促進

(新規) 屋内運動施設建設検討準備委員会事業【教育委員会】30万7千円

屋内運動施設建設検討準備委員会を開催し、先進地視察等を含め建設検討準備にかかる調査・研究を行います。

(新規) B&Gウォーターマラソン事業【教育委員会】1万円

紀和B&Gプールを利用して歩いた距離・泳いだ距離を、インターネットを通じて全国の参加者と競い合います。

(増額) ヨット体験事業【教育委員会】64万2千円(1万8千円)

小・中学生を対象にヨット体験教室を開催します。

(増額) カヌー川下り体験事業【教育委員会】85万9千円(9万円)

小学生以上を対象にカヌーでの川下り体験を実施します。

(継続) 「チャレンジレスキュー2013」事業【教育委員会】5万2千円

泳げない子どもも参加できるプールでの運動会を実施します。

(継続) 水泳教室事業【教育委員会】12万3千円

大人と子どもを対象とした初級者水泳教室を夜間に開催します。

(継続) くまの総合型地域スポーツクラブ運営事業【教育委員会】123万1千円

国・県が推進する生涯スポーツ社会の実現に向けて、子どもから高齢者、障がいのある人まで、様々なスポーツを愛好する人々が積極的に参加することのできるスポーツ教室等の取組を行っている総合型地域スポーツクラブに対し、助成を行います。

(継続) 市民健康スポーツ祭開催事業【教育委員会】50万円

子どもから高齢者、障がいを持つ人まで全市民を対象に積極的に参加することのできるスポーツ祭を開催し、地域の生涯スポーツ振興を図り、「市民1人1スポーツ運動」を推進します。

3 人権尊重社会の形成

(1)人権の尊重

(ア)人権問題への総合的な取組

(継続) 人権啓発事業 【市民保険課】 54万6千円

広く人権意識の高揚を図るため、人権に関する講演会とコンサートを行います。

(継続) 人権問題学習事業 【教育委員会】 20万円

人権講演会を通じて異文化を理解し、人権啓発・人権教育を推進します。

(2)男女共同参画社会

(ア)一人ひとりを認め合う意識づくり

(継続) 男女共同参画推進事業 【市長公室】 13万2千円

男女共同参画の普及のために各種啓発活動を行います。また、東紀州5市町で連携し、持ち回りで映画を上映します。

④生活環境の整備 「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」

1 美しく魅力ある景観の整備

(1)土地利用

(ア)適正な土地利用の推進

(増額) 地籍調査事業【建設課】 769万6千円(527万4千円)

道路整備計画予定地における公図の混乱を解消し、国道の整備促進を図ります。

(2)市街地の整備

(ア)計画的な市街地の整備

(新規) 山崎運動公園テニスコート改修事業【建設課】 6,080万円

山崎運動公園のテニスコートを人工芝にし、防風ネットも設置することによって、グレードアップを図り、市民の利用促進、スポーツ集客の拡大につなげます。

(増額) 防犯灯設置事業【建設課】 195万円(42万円)

区、自治会などが防犯灯の新設する際に補助を行っていますが、LED防犯灯への改修費用の一部に対しても補助を行い、市内防犯灯のLED化を進めます。

(増額) 電線共同溝整備事業【建設課】 2億5,586万7千円(1億1,052万2千円)

都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保などを図るため、西川町獅子岩線の無電柱化事業を実施します。

(継続) オール熊野世界NO.1フェスティバル開催事業【市長公室】 400万円

熊野市駅前において、市内各地域の住民同士の絆の再確認や地域内の活力再生、市全体のPRのため、全市民参加型のイベントを実施します。

(継続) 都市公園・安全安心対策緊急総合支援事業【建設課】 4,200万1千円

子育て支援の一環として市内各都市公園の遊具等の改修を行います。

(継続) 都市再生整備計画事業【建設課】 6,688万5千円

生活環境の向上を図ることを目的として、熊野市駅裏3号線他4路線の側溝整備等を行います。

(継続) 熊野市駅前周辺街並景観整備モデル事業【建設課】 300万円(100万円)

駅前周辺の家並みの熊野らしいデザインでの統一化を図ります。

(3)花のまちづくり

(ア)花いっぱい運動の普及

(継続) 花いっぱい運動事業 【市長公室】 155万7千円

育苗施設を活用した花づくり、市内の花グループで組織する「くまの花いっぱいネットワーク」の事業に対して助成を行い、「花のまちづくり」を推進します。

2 安全で快適な居住環境の充実

(1) 防 災

(ア) 住民意識の高揚と自主防災組織の強化

(継続) 自主防災組織アマチュア無線免許取得事業 【防災対策推進課】 68万3千円

災害時の情報伝達手段としてアマチュア無線を活用するため、自主防災組織がアマチュア無線の免許を取得する費用に対して補助を行います。

(継続) 自主防災組織資機材整備事業 【防災対策推進課】 50万円

防災資機材を整備する自主防災組織に対して補助を行います。

(イ) 災害に強い構造のまちづくり

(新規) 津波避難タワー整備事業(有馬地区) 【防災対策推進課】 3,402万6千円

近隣に高台などが無い地域の住民の生命を守り、身体の安全を確保するため、有馬町芝園地区、志原尻地区の津波避難タワー整備に向けて、平成25年度は用地購入、地質調査を行います。

(新規) 津波避難ビル検討事業(木本地区) 【防災対策推進課】 5万円

木本町内の高い建物を津波避難ビルに指定できないか検討するため、既に避難ビルを指定している先進自治体の視察を行います。

(新規) 災害時要援護者避難対策推進事業 【防災対策推進課】 73万9千円

災害時に要援護者の被害を減少させるため、市内5地区で個別避難計画の作成や避難訓練を実施します。

(新規) 津波対策ライフジャケット有償配布事業 【防災対策推進課】 2,278万円

地震・津波時に備えて、津波浸水予測地域内(須野町～久生屋町)に居住している災害時要援護者(65歳以上)の住民に対して、救命胴衣を有償で配布します。

(新規) 保育所ライフジャケット配備事業【福祉事務所】 122万2千円

地震・津波時に備えて、津波襲来が予想される保育所(新鹿、木本、井戸、有馬、ひまわり)にライフジャケットを配備します。

(新規) 小・中学校、幼稚園ライフジャケット配備事業【教育委員会】 335万6千円

地震・津波時に備えて、津波襲来が予想される小学校(新鹿、木本、井戸、有馬)、中学校(荒坂、新鹿、有馬)、幼稚園(木本)にライフジャケットを配備します。

(新規) 女性の防災意識啓発事業【防災対策推進課】 30万円

女性の防災意識啓発のため、災害時の「食」への備えをテーマとした講演及び料理教室を行います。

(新規) 防災ラジオ用アダプター有償配布事業【防災対策推進課】 15万8千円

防災ラジオの経年劣化により、アダプターの故障が相次いでいることから、有償(500円)での配布を行います。

(新規) 避難誘導標識設置事業【防災対策推進課】 552万9千円

地震発生時、津波から速やかに避難ができる体制を整えるため、避難場所の表示、避難誘導等の看板を整備します。

(新規) 避難路整備(見直し)計画作成事業【防災対策推進課】 2万円

現在、避難路を地元からの要望で整備していますが、市としてどれくらい必要なのかを洗い出し、整備していく計画を作成します。

(新規) エリアメール一斉送信機能整備事業【防災対策推進課】 20万8千円

大規模災害において、市民に対しての情報発信の迅速化を図るため、エリアメール3社(ドコモ、ソフトバンク、KDDI)のメール送信について、一度の操作で3社のエリアメールに送信できる設備を構築します。

(新規) 災害時防災井戸設置事業【防災対策推進課】 82万円

災害時の応急給水体制を補完するため、防災井戸を指定して、市民に周知します。また、可搬手押しポンプと浄水器を購入し、災害時に貸し出します。

(新規) 災害時要援護者対策けん引車いす補助装置貸与事業

【防災対策推進課】 120万円

地震・津波時に備えて、津波浸水予測地域内(須野町～久生屋町)に居住している車いすを利用している方にけん引車いす補助装置を無償で貸与します。

(新規) 災害バイク隊整備事業【消防署】 133万2千円

大災害の発生時にいち早く現場情報を収集するなど、初動対応に役立てるため、消防署に自動二輪車2台を配備します。

(新規) 市庁舎避難誘導灯設置事業【総務課】 58万円

市庁舎敷地内の街灯を災害時などの停電時にも点灯するよう、LED街灯を設置します。

(増額) 家具転倒防止器具取付事業【防災対策推進課】 97万6千円 (65万7千円)

災害要援護者の地震対策として、家具転倒による被災を防止するため、L字型金具等を取り付けます。また、自主防災組織で取り付ける場合、対象者への器具の無償配布を行います。

(増額) 海拔標識1,000枚設置事業【防災対策推進課】 970万8千円(159万2千円)

これまで市内に海拔標識を設置してきましたが、さらに1,000枚の海拔標識を追加します。

(増額) 防災公園整備事業【建設課】 3,780万円(1,590万円)

オレンジホテル跡地に、スポーツ集客のための野球場、室内練習場を備え、大規模災害時には復旧・復興活動の拠点となる公園を整備します。平成25年度は実施設計等を行います。

(増額) 急傾斜地崩壊対策事業【建設課】 410万円(200万円)

甫母地区外3地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を負担します。

(増額) 津波避難路ブロック塀等除去改修事業【防災対策推進課】 150万円(100万円)

津波浸水予想地域の避難路に面するブロック塀等の除去、改修に対し補助を行います。

(継続) 津波ハザードマップ整備事業【防災対策推進課】 750万円

津波からの住民の速やかな避難に役立てるため、国の中央防災会議の被害想定から作成した津波シミュレーションに基づき、津波ハザードマップを作成し配布します。

(継続) 災害時避難所整備事業【防災対策推進課】 159万2千円

大規模災害時、避難所の運営に必要な設備を整備します。

(継続) 災害時用非常食・飲料水整備事業【防災対策推進課】 78万6千円

大規模災害時の避難者のための非常食及び非常飲料水を備蓄します。

(継続) 木造住宅耐震補強補助事業【防災対策推進課】 2,325万円

地震の際に、倒壊の危険性の高い木造住宅の耐震補強工事を行う住宅に対して補助を行います。

(継続) 木造住宅耐震補強設計費補助事業【防災対策推進課】400万円

木造住宅の耐震補強設計費への補助を行います。

(継続) 停電時避難誘導灯整備事業【防災対策推進課】564万8千円

災害時に停電しても自動的に点灯する街灯を整備することで、停電時の夜間の避難に備えます。

(継続) 耐震シェルター設置費補助事業【防災対策推進課】400万円

地震の際に、倒壊の危険性の高い木造住宅の居室等に耐震シェルター設置する場合に補助を行います。

(継続) 避難路整備事業【建設課】3,000万円

大規模地震・津波時の速やかな避難を図るため、避難路における階段手すり整備や路面の補修などを行います。

(継続) 木造住宅耐震診断等事業【防災対策推進課】450万円

昭和56年5月31日以前着工の木造住宅について、市民からの希望を募り耐震診断を実施します。

(継続) 高齢者安心生活調査指導事業【防災対策推進課】544万4千円

災害時の要援護者対策及び安否確認のため、要援護者宅を訪問し、家庭内の危険箇所を発見指摘し、改善指導を行います。

(2)消 防

(ア)消防力の充実強化

(新規) 消防救急デジタル無線・通信指令システム整備事業【消防署】1,444万2千円

消防救急無線をデジタル化し、消防署内の通信指令システムを更新し、消防力の充実強化につなげます。平成25年はシステム、工事の実施設計を行います。

(新規) 水槽付消防ポンプ自動車更新事業【消防署】5,564万3千円

高速道路開通にあわせて、消防水利が限られている自動車専用道路上での交通救助、車両火災、大型車両事故に対応できる水槽付消防ポンプ自動車を配備します。

(新規) 五郷分団車庫改築事業【消防署】1,879万円

老朽化した五郷分団車庫を改築し、火災や災害時などの活動拠点としての機能を高めます。

(新規) 消防団小型動力ポンプ更新事業【消防署】490万円

消防団(甫母、大馬、花知)に配備されている小型動力ポンプを更新し、消防力を強化します。

(3)住宅・住環境

(ア)住宅取得の支援

(継続) 空家情報公開事業【水産・商工振興課】 3万6千円

市内の山間部・海岸部にある空家を貸したいという人を募集し、市のホームページや広報を通じて空家情報を公開し、借りたい人を募集します。

(4)道 路

(ア)市道の整備推進

(新規) トンネル長寿命化計画事業【建設課】 400万円

市道に4本のトンネルがありますが、点検を実施し、トンネルの長寿命化修繕計画を作成します。

(増額) 橋梁長寿命化修繕計画事業【建設課】 5,600万円(400万円)

市道の15m未満の橋梁の長寿命化計画策定と既に計画を策定している15m以上の橋の補修を行います。

(継続) 道路新設改良事業【建設課】 5,000万円

市道における車輛通行不能箇所及び通行困難箇所の解消を図ります。

(継続) 道路維持事業【建設課】 6,500万円

市道における狭小な断面の側溝や、老朽化した側溝を蓋付き側溝に改修し、排水性の向上や通行の安全性を確保します。

(継続) 社会資本整備総合交付金事業【建設課】 2,625万円

地域住民の生活環境の向上を図るため、平成25年度は、千儀鬼ヶ城線、瀧線の改良事業を実施します。

(5)交通体系の整備

(ア)公共交通の確保

(新規) 市街地乗合タクシー運行事業【市長公室】 742万9千円

市街地における交通弱者の日常生活における不安を解消し、交通手段の確保を図るた

め、乗合タクシー(ワゴン車)を試験的に運行します。

(新規) 市街地周遊バス運行事業【市長公室】 165万円

観光客に対する2次交通の確保を図るため、市街地観光施設及び体験施設を周遊する定時定路線型、運賃固定のバス(ワゴン車)を試験運行します。

(増額) バス運行対策事業【市長公室】 8,220万4千円(8,103万円)

路線バス廃止後の代替交通手段確保策として、乗合バス事業者に委託し、自主運行バスを5路線運行します。地域住民の生活交通を確保するため、災害で県道が寸断されている神川、育生、井戸町瀬戸地区に対して、迂回してバスを運行します。

運行路線 清流・那智黒石の里線、潮風かほる熊野古道線

瀬流荘紀南病院線、熊野古道瀬流荘線、飛鳥五郷線

(継続) 生活交通路線維持費補助事業【市長公室】 226万9千円

市民の生活交通確保と交通利便を図ることを目的に、市内1路線を維持するため、三重交通(株)に対して、赤字の一部を補助します。

(継続) 福祉バス運行事業【健康・長寿課】 663万7千円

①紀和町全域において、バスの未運行地域に福祉バスを運行し、地域の高齢者が安心して生活ができるよう利便性を確保します。

②JR、バスが運行されていない須野・甫母地区、育生地区、神川地区、紀和地区にワゴン型乗用車を運行し、高齢者の生活利便性の向上を図ります。

(イ)地域交通体系の構築

(増額) 過疎交通対策推進事業【市長公室】 102万6千円(32万9千円)

平成22年度から実施された過疎地有償運送制度に対して、継続的な意向調査を実施します。また、有償運行制度の利用促進及び検診等の参加者増を図るため運行費用の補助を行います。

(継続) 地域公共交通会議運営事業【市長公室】 31万円

市が運行主体となる地域公共交通の実施及び態様の検討のため、地元住民及び関係機関の間で協議を行い、合意形成を図ります。

(7)住宅・住環境

(ア)住宅取得の支援

(継続) 市営住宅修繕事業【建設課】 350万円

各市営住宅の修繕を行います。

(8)災害復旧事業

(継続) 災害復旧事業【農業振興課、林業振興課、建設課】 4億1,215万5千円
台風12号により甚大な被害を受けた道路、河川、水路、林道などの復旧事業を行い、1日も早い復興を目指します。

3 環境保全の推進

(1)廃棄物処理

(ア)廃棄物の減量化

(継続) 電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器購入費補助事業【環境対策課】 66万円
電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器購入者に対し補助を行います。

(イ)廃棄物処理体制の充実

(新規) 不燃物処分場搬入路整備事業【環境対策課】 140万円

現在、砕石で固めている搬入路の舗装化を行い、砕石からでるほこりを防止して、搬入の安全性を向上させます。

(継続) 汚泥再生(し尿)処理センター建設事業【環境対策課】 2億6,633万1千円

耐用年数を経過し老朽化した現在の施設に代わる、汚泥再生処理センターの27年度までの完成を目指し、工事を継続します。

(2)環境保全

(ア)水環境・自然環境の保全

(継続) 休廃止鉱山鉱害対策事業【環境対策課】 784万6千円

休廃止鉱山にかかる鉱害防止を図るため、紀州鉱山において坑廃水処理事業者(財団法人資源環境センター)が実施する坑廃水処理に要する経費の一部を助成します。

(継続) よみがえれ大又川連絡協議会活動事業【環境対策課】 25万円

大又川の水質の再生を目指して生活雑排水処理施設の効力の研究、合成洗剤から石鹼への切り替え運動等を実施している連絡協議会の活動費用の一部を助成します。

(イ)地球温暖化の防止

(増額) 緑のカーテン運動推進事業【環境対策課】 26万8千円(22万9千円)

地球温暖化の進行を抑制するため、夏場の冷房によるエネルギー消費量削減に効果がある緑のカーテン(壁面緑化)運動を推進します。

(ウ)環境美化と環境衛生

(継続) 全市民によるごみ拾い運動事業【環境対策課】 1万5千円

6月を全市民によるごみ拾い運動月間と定め、市民に1人1個のごみ拾い運動への参加を呼びかけます。

(継続) 熊野市環境美化ボランティア推進事業【環境対策課】 4万4千円

環境美化の維持を目的として、単独で環境美化を行っているボランティア団体へ清掃用具の提供、ボランティア保険の加入、サインボードの設置等の助成を行います。

⑤まちづくりの進め方

1 市民と行政の協働によるまちづくり

(1)市民参加の推進

(ア)情報の共有と広報・広聴の充実

(継続) 広報紙内容充実事業 【市長公室】 12万円

広報クイズを実施し、市民参加型の広報紙として内容を充実し、市民と行政のコミュニケーションを深めます。

(継続) 市民意識調査事業 【市長公室】 29万3千円

市民アンケート調査で市民生活の状況や行政サービスに対する評価、満足度、ニーズを把握し行政運営に生かします。

(2)地域コミュニティの育成強化

(ア)地域コミュニティ活動への支援

(新規) 若者定住のための空き家改修事業 【市長公室】 60万円

過疎集落における若者定住を推進するため、区やまちづくり協議会が空き家の改修をする際に原材料費相当分の補助を行います。

(増額) 地域おこし協力隊等事業 【市長公室】 2,287万6千円(2,104万5千円)

各地区へ「地域おこし協力隊」及び「集落支援員」を配置し、集落機能の強化を図ります。

(増額) 移住・交流推進事業 【市長公室】 53万5千円(31万8千円)

都市部での移住・交流に関する情報発信等、都市部の移住希望者のニーズにあった移住・交流事業を推進し、定住人口の増加を目指します。

(増額) あいさつ運動推進事業 【市民保険課】 76万7千円(20万円)

地域の絆の再生、市民のおもてなし力の向上により防犯・環境・交流の各分野で地域力を高めます。

(イ)地域まちづくり協議会の充実

(継続) 地域まちづくり協働事業 1,414万8千円

各協議会において策定された総合計画に基づき、平成24年度に引き続き住民と市が協働で実施する「公助」の事業をまちづくり協働事業と位置づけ、補助金を交付するとともに、

職員をアドバイザーとして協議会に参加させるなどの支援を行います。

(各地域の事業内容等についてはP64、65)

(継続) 地域まちづくり協議会活動報告事業【市長公室】5万円

オール熊野世界NO.1フェスティバルに合わせて、各地区地域まちづくり協議会の活動を文化交流センターで展示し、活動の認知度の向上、意欲高揚を図ります。

(ウ)環境整備

(新規)有馬第1公民館耐震化事業【教育委員会】100万円

有馬町芝園の有馬第1公民館の耐震診断を行います。

(新規)新鹿公民館照明修繕事業【教育委員会】138万9千円

新鹿公民館の照明設備が経年劣化により老朽化しており、照明設備を修繕して施設内の環境改善を行います。

(新規)平谷公民館修繕事業【教育委員会】4万1千円

平谷区が所有する公民館の敷地舗装の原材料を支給します。

(新規)小船集会所兼診療所修繕事業【教育委員会】41万1千円

小船集会所兼診療所の駐車場舗装の原材料を支給します。

(3)市民活動の促進

(ア)市民活動と行政との協働の推進

(増額)「美し国おこし・三重」支援事業【市長公室】80万6千円(72万円)

地域の多様な主体が、地域の特色ある自然や歴史・文化などを活用して取り組む地域づくり活動について、立ち上げ段階での財政的支援並びに人材育成及び活動への助言等の支援を行います。

2 市民本位の行政

(1)行政サービスの向上と行財政改革の推進

(ア)市民に信頼され感謝される職員の育成

(新規)一般職非常勤職員研修事業【総務課】7万4千円

一般事務職を中心とした非常勤職員に対し、専門講師による接客対応マナー研修を実施し、接客の基本的な意識の持ち方から実際の対応について再確認させ、市民満足度の向

上を図ります。

(継続) コーチング研修事業【総務課】 200万円

コーチング技術の習得と実践を繰り返すことにより問題点を解消し、コミュニケーションの意識を醸成していきます。

職員個々のコミュニケーション能力を向上させることで分権社会にその独自性、自主性を発揮し組織力を向上させます。

(継続) 職員企業等派遣研修事業【総務課】 74万1千円

職員を民間企業に派遣し、民間企業の「顧客感覚、経営感覚」などの厳しさを研修させることにより、職員の意識改革と資質の向上を図ります。

3 財政健全化に向けた取り組み

(1)人件費の削減

(ア)退職職員の不補充(退職9人、採用7人)による減 1,400万円

(2)公債費繰上償還の実施

(ア)繰上償還を実施し、後年度公債費の負担を軽減させます。

繰上償還額 4億6,276万7千円

平成25年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	事業名	事業の目的	要望額 (千円)	担当課
		事業の内容		
荒坂	荒坂ミニファーム2010事業 (H22～)	① 「えごま」「金ゴマ」を栽培し採算性の見込みを探る ② 引き続き「ひょうたん」の加工方法の研究	188	農業振興課
		遊休農地を利用した「えごま」・「金ゴマ」の栽培、「ひょうたん」絵付けなどの加工		
遊木	災害に強いまちづくり整備事業	避難路、避難所の整備	2,000	防災対策推進課
		①避難路に誘導等を設置 ②避難所周辺に蓄電式照明の設置 ③避難所への侵入路の拡幅及び転落防止柵の設置		
新鹿	災害に強いまちづくり整備事業 (H19～)	防風林・避難路・避難場所の整備、防災講演会の開催	201	防災対策推進課
		①防風林の剪定、周辺の草刈り ②避難路の舗装 ③防災後への開催		
	花づくり事業 (H24～)	町内景観の向上	127	市長公室
		町内花壇の整備		
	高齢者の健康づくり事業	高齢者の外出環境の整備	140	健康・長寿課
	歩行時休憩用のベンチを設置			
高齢者筋力向上対策モデル事業	高齢者の筋力向上運動の実践（三重大学・中部電力と連携）	600	健康・長寿課	
	①下肢強化運動 ②体力測定 ③講話及び訓練			
小計			1,068	
波田須	避難所整備事業	避難所の整備	207	防災対策推進課
		①和式トイレを洋式の簡易トイレに改装 ②手すりの設置		
	屋外掲示板設置事業	情報伝達手段の整備	1,026	市長公室
		屋外掲示板を町内6ヶ所に設置		
徐福の花の郷づくり事業	熊野古道と花の里によるまちづくり	68	市長公室	
	花壇の整備及び施肥			
小計			1,301	
磯崎	特産品保護事業	磯崎町の特産品の保存（さつまいも）	1,110	農業振興課
		① ゲートボール場をさつまいも畑に整備する（開墾・獣害対策）		
大泊	環境美化普及事業 (H21～)	地域環境の改善	272	環境対策課
		① EMの普及を目的とした講習会・EM団子製作会の開催 ② 各家庭において培養・使用 ③ 水質検査の実施		
	災害に強いまちづくり事業	防災意識の向上	313	防災対策推進課
	①防災訓練の実施 ②訓練時には保存年限の切れた保存食を活用した炊き出しを行う			
小計			585	
木本	災害に強いまちづくり事業	防災マップの作成	98	防災対策推進課
		災害時の危険箇所洗い出し、避難所を点検して防災マップを作成する		
井戸	井戸川環境美化普及事業 (H17～)	EMIによる井戸川の環境美化	339	環境対策課
		① 井戸川へのEM団子及び活性液の投入 ② 井戸川周辺の草刈と		
	井戸川憩いとふれあいの場提供事業	桜の名所を演出し、地域住民に憩いとふれあいの場の創出	303	観光スポーツ交流課
		① 夜桜のライトアップ ② 花見イベントの実施		
災害時水源マップ作成事業	断水に備え、井戸やわき水の場所を表示した防災マップの作成	86	防災対策推進課	
	井戸やわき水の場所を調査し、表示した防災マップを作成する。			
小計			728	
有馬	花の里づくり事業	花の地域産品創出と景観づくり	695	農業振興課
		遊休農地等を活用した花卉栽培		

平成25年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	事業名	事業の目的	要望額 (千円)	担当課
		事業の内容		
久生屋	久生屋地区大前池環境美化事業	大前池の現状を知り、環境美化意識の向上 ①水質検査の実施 ②カヌーや川舟をの体験を大前池で実施	182	環境対策課
	久生屋地区史跡看板設置事業	史跡看板を設置し地域に対しての住民に愛着を深める 市席案内看板の設置	280	教育委員会
	久生屋地区文化伝承事業	古くからの言い伝えや伝統行事を伝承する ①言い伝えや昔話の録音 ②音頭や踊りの撮影	22	教育委員会
	小計		484	
金山	環境美化活動推進事業 (H18～)	町内環境美化、生物保全の実施 ①河川環境美化活動 ②ホテルの里づくり ③メダカ池周辺の清掃・メダカの保全	132	環境対策課
育生	とこね広場周辺整備事業 (H17～)	町内外の人達の交流と憩いの場づくり ①トイレの臭気・排水対策作業 ②立ち木手入れ・草刈り作業 ③野菜・山菜の収穫体験、販売イベントの実施 ④新特産品の開発（ハバナロ、鹿肉、どぶろく等）	1,035	農業振興課
神川	神川町内桜剪定整備事業	神川町シンボルである桜の木の保全 専門家の指導を受けながら伐採、剪定、薬剤の注入	1,407	林業振興課
	カブトムシ公園（仮称）事業	体験公園を整備し交流を図り活性化を目指す カブトムシが羽化する場所を公園として整備する	593	林業振興課
	小計		2,000	
五郷	新地場産業興し研究事業 (H19～)	新たな地場産業による地域の活性化 お茶の栽培及び加工	0	
	安心して住めるまちづくり事業 (H23～)	防災意識の向上 ①避難訓練の実施 ②既設機材の保守点検	0	
飛鳥	すきま野菜産地化計画事業 (H19～)	①農地の遊休化の防止 ②直売所における安定的な製品の確保 ③農家の所得の向上 ①多品種野菜生産の産地化 ②希少性が高く、地域で栽培可能な野菜の有機農法による生産 ③年間を通して販売ができる野菜類の栽培研究	175	農業振興課
	飛鳥地区助け合い事業 (H22～)	ボランティアグループの運営を支援 高齢者の住宅周辺の草刈りや住居の修繕	85	健康・長寿課
	自然活用活性化事業 (H24～)	自然を活用した地域おこし 小又地区のビオトープ「めだかの学校」を活用した地域活性化事業	221	環境対策課
	小計		481	
上川	高齢者支援、地域景観保護事業 (H18～)	快適な生活環境と地域の美しい景観の整備 ①高齢者の住宅周辺の除草及び樹木の伐採 ②道路や公共施設周辺の樹木の伐採 ③伐採した樹木の再利用（炭化）	254	環境対策課
	農作物試験栽培事業 (H24～)	レンコンの試験栽培 レンコンの試験栽培それに伴う獣害対策の実施	227	農業振興課
	小計		481	
入鹿	紀州鉾山選鉾場跡地保存事業	観光資源周辺の環境美化 ①鉾山選鉾場跡地を観光資源として利用するための環境保全作業 ②ライトアップを行い、市内内外に選鉾場跡地のPRを行う	1,127	観光スポーツ交流課
西山	赤木城史跡周辺イメージアップ事業 (H19～)	赤木城史跡景観保全 ①景観を損ねている立木の伐採 ②案内看板の設置 ③案内パンフレットの作成	635	教育委員会
合計			14,148	31事業